

THE KANSAI UNIVERSITY BULLETIN

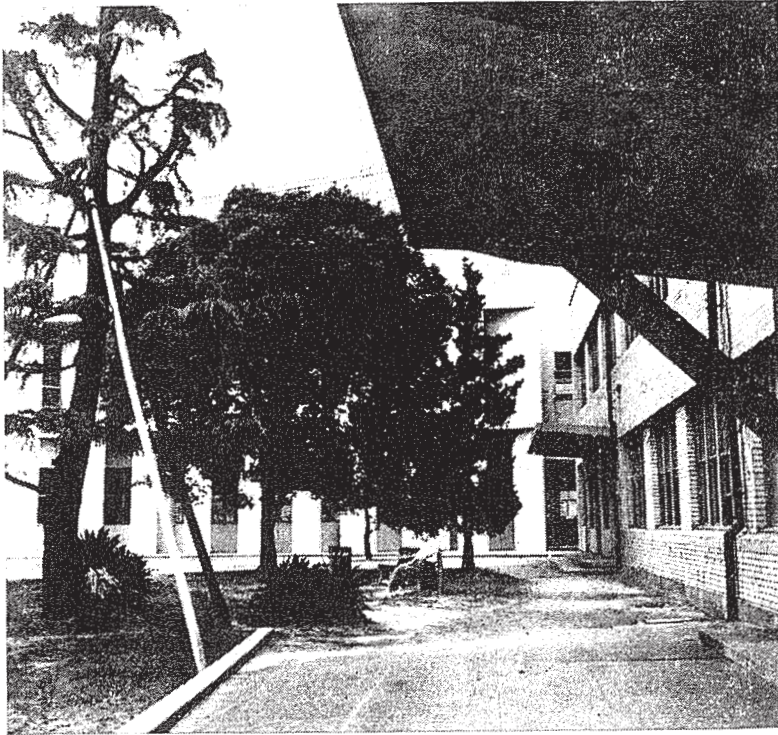
Osaka, June 15th, 1954. No. 270.

# 關西大學學報

第 2 7 0 号

昭和 29 年 6 月

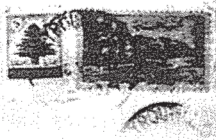
昭和二十六年十月十五日第三種郵便物認可  
通卷第二七〇号  
昭和二十九年六月十五日發行(每月一回十五日發行)



経・商学会玄関(千里山)

關西大學學報局

رجنت اوتيل  
REGENT HOTEL  
BEYROUTH - LIBAN



## チグリスのほとり レバノンの山かげ

廣瀬 拾三

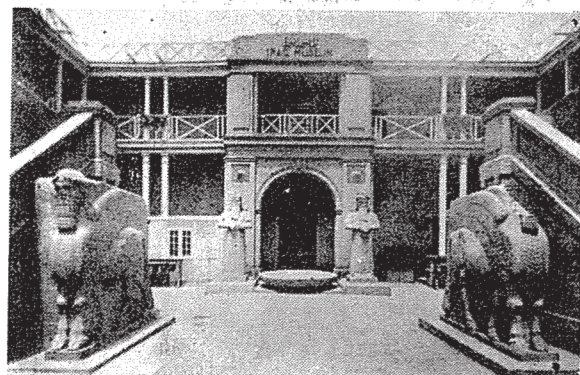
海外研究員だより

水があつたそうで、濁流滔々と流れ堂島川を少し幅広くした程でポンポン蒸気もあり、右手に鉄橋が見えて赤いバスがその上を走っています。建物はカラチ同様泥の煉瓦を積んだもので、写真で想像していたより汚ならしいものです。隣のエール・フランス事務所へ行くとなネヂヤアが、あなたは行く必要がない、明日ビザを取つた旅券をここで渡すからとのこと、街を散歩しこのアル・ラシッド街から橋を渡つてファイサル一世の銅像のある広場まで行つてきま

(バグダード通信)  
私五日午前零時カラチより当バグダードへ到着しました。カラチでは三日四日と断食あけの大祭で休みで、イラク

のビザが取れません。エール・フランス航空会社に日本輸出入銀行の田島正太郎さんが私と同道、親切にかけ合つて下さつて会社では兎も角バグダードへ予定通り四日に立て、電報をバグダードへ打つておくからとのこと、四日夕方カラチを離れてエール・フランス機に乗りました。東京出発の際は流石に生れて初めての飛行機で、故国を離れ殊に妻と羽田空港で別れたばかりで万感交々どいつたところでしたが、二度目はもう馴れたもので、機上の乗組員もホステスも東京からカラチへ来た時と同じ顔ぶれでした。バグダードへ真夜中着いて、ビザは明日ここへ取りに来るようにとエール・フランスの係員の指示で、やれやれこのホテルへ車で来ました。機上の夜食で葡萄酒も出たのでよい気持で眠りましたので、ホテルではなかなかねつかれず妻へ便りを書きました。朝起きてみますと、チグリス河を前にした大広間で食事です。春に洪

ル・フランス事務所へ行くとなネヂヤアが、あなたは行く必要がない、明日ビザを取つた旅券をここで渡すからとのこと、街を散歩しこのアル・ラシッド街から橋を渡つてファイサル一世の銅像のある広場まで行つてきま



イラク博物館(バグダード)

も来にけるかなの感、切なるものがあります。商店街(このラシッド街)も一間の間口にそれぞれ店が出ていて大したものではありません。デバードも日本では地方の出張所といった感じですが。ヘルメット帽に白上衣黒ズボンの交通巡査が右側通行のバスやタクシーをさばいていて、四辻も交通信号はありません。人が横断する時は車を停めてくれます。この点なかなか日本より人権尊重(？)です。

名物のバザアも昨八日うるついでにみました。ここも一間程の間口に一つの店が出て大低通りの上にカバアがあります。洋服も上衣ネクタイきちんとしているあり、開襟あり、この暑いのに中折やバナマ帽は殆んどありません。アラビヤの服装は又暑くさうですが、靴だけは共通です。一体に洋服の方が鼻の大きなのんびりした間の抜けた顔で、アラビヤ風の服装をした方が色は黒いが顔が端麗で引きしまつていようです。小供は昔の日本のアツパツパのようなものを裾まで引ずる程着てはだして歩いていきます。大人の男でもこんなを着ているのはとても珍妙です。婦人は例の真黒な覆いを頭から裾まですつぽり被つていますが、それでも顔だけは見せているのが多い。六日エール・フランスの召使と旅券係へ行つて三人の役人に順々に会いましたがエール・フランスへ帰れというわけで、今度はマネヂヤア同道で行きやつとビザを承知してきて、七日エール・フランス事務所で漸く旅券を受取りました。こちらにもビザなしで乗込んだ強心臓でしたが、エール・フランスのマネヂヤアには何故ビザなしの者に乗せたとのお叱りださうです。こちらは貰うなり飛び出すのは少し義理が悪いが、明十日ベールトへ立ちます。レバノンとシリアのビザはエール・フラ



ンスで一日で取つてくれました。

パビロンの廃墟までは自動車で往復八時間かかるのですが、洪水で迂回するのでもつとかかり、普通五デナリー (Dinar、約五千円) ですが、今は十デナリー (約一万円) かかり、この熱風の吹く日中とても行けず、又今九日は総選挙で物騒だから止めておく方がよからうとの日本の商社の方々の御意見なので止めました。実際この時に又暑い国々をこれから廻らねばならぬので思いやられます。しかしこれも経験になることと思います。ホテルは冷風装置で冷しく、昼の食事は閉め切つた大広間で、外部の暑さを遮つています。昼はとても外出出来ず、商店も事務所も扉を閉め、鎧戸を下してしまします。夜は熱風も収つてからチグリス河畔の芝生で食事です。空には半月と金星が輝いています。このみは故国と変わりありません。変りないものといえ雀も鳥もいますし、鳩のクークー啼く声が朝チグリス河に聞えて印象的です。猫も二、三匹芝生や広間をうろついています。日本の猫と変りなく、たゞ目がペルシアに近い為か碧く澄んでいます。六日イラク博物館へ行きました。これは街の雑踏の中にあり仮の場所ださうです。既に写真で見馴れたものも多かつたが、実物であるのが値打でせう。例のヘルメット帽に黒上衣白ズボンの交通巡査が番しています。博物館も午前八時半から十二時半までです。午後はここでは午睡もしなければもたぬさうです。その午睡の時間をぬすんでこの便りをしたためました。皆様御機嫌よろしく。出発まで色々御世話になりましたこと

を末筆乍ら御礼申し上げます。(昭和二十九年六月九日。イラク國バグダード市、セミラミス・ホテルにて記。)

◇ ◇ ◇

(バイルト通信)

十日午後二時三十分バグダード発。第三回目の飛行はイラク航路会社の飛行機に乗りました。アッシリア門に名残を惜しみ乍ら機は上昇し、ユーフラテス河も下に見て、沙漠を過ぎること暫く、次第に緑の山に羊腸たる道があつて豆よりも小さい自動車走つていのが見えていきましたが、黄色い家、赤い屋根の街と紺碧の海が見え出しました。バイルトと地中海です。六時バイルト着。かねて聞いていたように降りても暑くなく、人の服装も派手で明るく、婦人の黒衣を被つてゐるのは非常に少ない。現在のホテルに到着し、夜出てみましたが、店もバグダードよりも清潔で賑かですが、やはり日本と較べたら田舎です。

十一日東北約八十六キロのバールベック (Barbek Helipolis) へ自動車で行く。レバノン山脈を東へ



古代ローマ神殿遺跡の前で

越え、シリアとの国境のアンタイ・レバノン山脈とこのレバノン山脈と中間の平野にある古代ローマ神殿の遺跡でデユピター、パッカス、ダイナスの神殿の跡で、初めて見る実物でした。六本の円柱天に聳え、神々の彫刻や碑文がそこらに転つています。帰り途のザハク (Zahak) で昼食。溪流に沿つて席が取つてあり、割に人が来ています。レバノン國の人は皆割に相當きちんとした風態で、家族づれです。この料理はやはり一皿づゝ盛つてありますが、各人が勝手に少しづゝ取るのですが、料理や酒は全く私の口には合いませんでした。

十二日はバイルトの東約三十五キロのジュバイル (Jebail) へ行く。古えのアドニス (Byblos) です。途中アドニス (Adonis = Thunnuz) の血汐が流れて赤くなるといはれる (実は土流の土砂で濁るので) アドニス河、現在ナール・インラヒム (Nahr Ibrahim) 河畔に暫し車を停めて茶店でコカ・コラを飲んで休みました。このレバノン國は自動車道路がよく発達しており、途中必ずコカ・コラ又はペプシ・コラ (同じものですが) の広告のある茶店が到る処あります。この河は今幅十米程で地中海にそゞぎ、青く澄んでいます。殊にバイルトからジュバイルに至る海岸の道傍には御地藏さんならぬ聖母マリヤを祭つた祠があり、額縁のマリヤに花や線香、燈明まで供えてあり、夜になると螢光燈のつくのもあります。

ジュバイル (ビブロス) は現在小村で、古えの城砦フェニキヤ時代の街路、石棺、エジプトの神殿、十字軍時代の教会、及モスクが海岸にあります。興味深かつたのは、ローマ時代の小劇場の遺跡で、地中海を背景に此処で何を演じたこととせう。遺跡の附近も緑の中に葵、夾竹桃、ダリヤの花が咲き乱れて静かです。

十三日はベイルートより南下して古えのシドン(Sidon)・タイロ(Tyre)へ行く。前者は今サイダ(Saida)といい、かなり大きな町で海中に出たフェニキヤ以来の城壁があります。干潮で歩いて行けます。それからテイロへ行く途中道傍の茶店で昼食をする。鯛のやうな魚を油でいためたのを持って来ました。今日は日曜のこととて、大家族づれでこへ遊びに来ています。

車は南下してベイルートより七十九キロのテイロ(現在スール, Saun)へ行く。小村で裏手に遺跡があります。帰途先程の茶店へココ・コラを飲みによります。また家族連れがいて、地中海を前にして、歌に合せ五つ位の男の子が手ふり足ふり腰ふつて踊るのを皆円陣を作つて興じているのを目にして遊子そぞろに旅愁を覚えました。

又シドンも過ぎてからレバノン山中に入り、大統領夏士官舎というベイト・エド・ディン(Bait Ed Dine)の宮殿を見る。この国の人は自慢するが小規模なアラビヤ建築です。それからバルーク(Barouk)或いはサハア(Saha)といふ山中の溪流の納涼地に行く。先のザハイにしても、こちらにしても余程こんな処をこの国人は好むのでせう。

十四日はベイルートより東南六十一哩のシリア国の首府ダマス(Damas-Damascus)へ行く。又ベイルートよりレバノン山脈を越え、今度はアンテイ・レバノン山脈にさしかる頃にレバノン、シリア兩國の関門があります。シリア側の方が山も荒涼としている。ダマスは周囲緑の木で取囲まれているが、その外は沙漠の平野や山のようなです。天蓋をトンネル形にしたスーク(Sauk 商店街)を通り抜けるとオマイヤードスのモスクがあります。ダマスカ織りというのでし

か、絨毯を敷きつめた堂内に聖ヨハネの墓所があり、ここかしこ坐つて経文をとなえたりしているようです。それからアゼム(Azem)宮殿を見た後博物館へ行く。大きな彫刻などは館外の芝生に転がしてあります。最近一九五二年シリア国内から出土したのも飾つてあり、何にしても実物のある国には叶いません。シリア国に居ること六時間半で又レバノン国に帰つてきました。

十五日午後ベイルートで映画を見る。あまりきれいでないが大きくてざらつと入つてゐる。火星人の地球襲撃という荒唐無稽なものをしていて、英語のトーキーで、アラビヤ語とフランス語が画面に焼付けてあります。次はアラビヤ映画ですが、誰か聖者の一代記らしいが、何やらさつぱり判らず殆んど三時間程退屈しました。観客はこの映画の方では処々で盛んな拍手をしている。

この国では割に快適な気候(カイロやバグダードよりこへ避暑にくるさうです)と四通八達の自動車道路に恵まれたので、バグダードで酷暑の為手も足も出なかつた私も、ここでは大いにとび廻りましたが、その代り滞在費は淡雪なす消えて行くのを如何せんといつた状態です。明十七日ヨルダン国のビザの取れ次第早々ベイルートを切上げようと思ひます。

今十六日当市の国立博物館へ行く。ピブロス、シドン等出土の重要なものは皆ここにあります。地下室に石棺など素張らしいものあり。トルコ帽の爺さんが一タスキツチをひねつては照明をつけて見せてくれます。入場料以外又若干の御布施を取られることいつもの通りです。(昭和二十九年六月十六日午後、レバノン国ベイルート市、リーゼント・ホテルにて) (文学部教授)



### 私立大学図書館協会総会

私立大学図書館協会第十五回総会は五月十二日より十四日まで三日間、本学(当番校)千里山図書館において開催された。

第一日は岩崎本学々長、原田早稻田大学図書館長の挨拶、創立十五周年記念式典、次いで総会(大学院円形教室)があり、第二日は大会議事(大学院円形教室)、第三日は研究発表(大学院円形教室)等が行われ多様な行事を終つた。

### 研究発表

- 一、絵巻物の書誌学的意義 立正大学図書館 桜井良策
- 二、協定会文章について 法政大学図書館 足立正夫
- 三、バックナムバーの整理についての方法 東京電機大学図書館 藤田豊

### 当日出席校左の通り

- 愛知大学、青山学院大学、大阪工業大学、大谷大学、大妻学院大学、大阪経済大学、大阪工業大学、学習院大学、関西学院大学、京都女子大学、京都薬科大学、共立女子大学、金城学院大学、慶応義塾大学、神戸女学院大学、国学院大学、高野山大学、上智大学、西南学院大学、専修大学、中央大学、天理大学、東京経済大学、東京女子医科大学、東京女子大学、東北電機大学、東京農業大学、東洋大学、東北薬科大学、同志社大学、東北学院大学、日本大学、日本歯科大学、日本女子大学、福岡商科大学、私教大学、別府女子大学、法政大学、武庫川学院、明治学院大学、明治大学、名城大学、龍谷大学、立教大学、立正大学、立命館大学、早稲田大学、関西大学

出席校 四十八校  
出席校 七十七名

### 関西大學英語英文學會

英語英文學會は五月一日大学院において例会を行った。

Evelyn Waugh, "Love Among the Ruins"に就いて 小野 正 人  
滯欧雑感



# 学内報

## 教育職員免許法認定講習会

本学では一般社会人特に現職教員や本学学生のため夏期休暇を利用して、昭和二十五年より免許法認定講習会を開いて来たが、本年もまた七月十二日(月)より八月二十日(金)まで約六週間開講する。

本講習は昭和二十四年制定された教育職員免許法によるもので、文部大臣の認可を得ている。なお開講科目と担任講師左の通り。

科目名	単位	担任講師	教職				専門				科目				教目			
			教育心理学	教育心理学(発達心理)	教育心理学(青年心理)	教育心理学(社会科)	教育心理学	教育心理学(発達心理)	教育心理学(青年心理)	教育心理学(社会科)	教育心理学	教育心理学(発達心理)	教育心理学(青年心理)	教育心理学(社会科)	教育心理学	教育心理学(発達心理)	教育心理学(青年心理)	教育心理学(社会科)
教育原理	4	鈴木 祥藏	関西大学 助教授	関西大学 助教授	関西大学 助教授	関西大学 助教授	関西大学 助教授	関西大学 助教授	関西大学 助教授	関西大学 助教授	関西大学 助教授	関西大学 助教授	関西大学 助教授	関西大学 助教授	関西大学 助教授	関西大学 助教授	関西大学 助教授	
教育心理学	4	川口 勇	関西大学 助教授	関西大学 助教授	関西大学 助教授	関西大学 助教授	関西大学 助教授	関西大学 助教授	関西大学 助教授	関西大学 助教授	関西大学 助教授	関西大学 助教授	関西大学 助教授	関西大学 助教授	関西大学 助教授	関西大学 助教授	関西大学 助教授	
教育心理学(発達心理)	4	辻岡 美延	関西大学 助教授	関西大学 助教授	関西大学 助教授	関西大学 助教授	関西大学 助教授	関西大学 助教授	関西大学 助教授	関西大学 助教授	関西大学 助教授	関西大学 助教授	関西大学 助教授	関西大学 助教授	関西大学 助教授	関西大学 助教授	関西大学 助教授	
教育心理学(青年心理)	4	知義	関西大学 助教授	関西大学 助教授	関西大学 助教授	関西大学 助教授	関西大学 助教授	関西大学 助教授	関西大学 助教授	関西大学 助教授	関西大学 助教授	関西大学 助教授	関西大学 助教授	関西大学 助教授	関西大学 助教授	関西大学 助教授	関西大学 助教授	
教育心理学(社会科)	4	田中 健一	関西大学 助教授	関西大学 助教授	関西大学 助教授	関西大学 助教授	関西大学 助教授	関西大学 助教授	関西大学 助教授	関西大学 助教授	関西大学 助教授	関西大学 助教授	関西大学 助教授	関西大学 助教授	関西大学 助教授	関西大学 助教授	関西大学 助教授	
教育行政学	2	蜂屋 慶	関西大学 助教授	関西大学 助教授	関西大学 助教授	関西大学 助教授	関西大学 助教授	関西大学 助教授	関西大学 助教授	関西大学 助教授	関西大学 助教授	関西大学 助教授	関西大学 助教授	関西大学 助教授	関西大学 助教授	関西大学 助教授	関西大学 助教授	
教育史	2	大小島 真二	関西大学 助教授	関西大学 助教授	関西大学 助教授	関西大学 助教授	関西大学 助教授	関西大学 助教授	関西大学 助教授	関西大学 助教授	関西大学 助教授	関西大学 助教授	関西大学 助教授	関西大学 助教授	関西大学 助教授	関西大学 助教授	関西大学 助教授	
哲学概論	2	田中 照	関西大学 助教授	関西大学 助教授	関西大学 助教授	関西大学 助教授	関西大学 助教授	関西大学 助教授	関西大学 助教授	関西大学 助教授	関西大学 助教授	関西大学 助教授	関西大学 助教授	関西大学 助教授	関西大学 助教授	関西大学 助教授	関西大学 助教授	
日本史概説	2	横田 健一	関西大学 助教授	関西大学 助教授	関西大学 助教授	関西大学 助教授	関西大学 助教授	関西大学 助教授	関西大学 助教授	関西大学 助教授	関西大学 助教授	関西大学 助教授	関西大学 助教授	関西大学 助教授	関西大学 助教授	関西大学 助教授	関西大学 助教授	
人文地理学概説	2	宇田 米夫	関西大学 助教授	関西大学 助教授	関西大学 助教授	関西大学 助教授	関西大学 助教授	関西大学 助教授	関西大学 助教授	関西大学 助教授	関西大学 助教授	関西大学 助教授	関西大学 助教授	関西大学 助教授	関西大学 助教授	関西大学 助教授	関西大学 助教授	
日本国憲法	2	桜田 誉	関西大学 助教授	関西大学 助教授	関西大学 助教授	関西大学 助教授	関西大学 助教授	関西大学 助教授	関西大学 助教授	関西大学 助教授	関西大学 助教授	関西大学 助教授	関西大学 助教授	関西大学 助教授	関西大学 助教授	関西大学 助教授	関西大学 助教授	

## 昭和二十九年 私立大助成金交付

昭和二十八年度より新規事業として始

昭和二十九年六月三十日付

められた私立大学研究基礎設備助成補助金は、本年度もまた大学院研究設備のため交付されることになった。

## 昭和二十九年 文部省科学研究費の交付

本年度の文部省科学研究費交付金(各個研究)は、文学部田中照、吉永登両教授に交付されることになった。なお研究課題左の通り

日本における「物」の認識と「人」の認識との様式別について

田中 照  
吉永 登

## 関西大学健康保険組合設立

社会保障制度の一環として本学教職員は従来より健康保険法に基き政府管掌の健康保険の被保険者であったが、この度自主的に相互扶助の目的をもって健康保険法による単一組合結成を厚生省に認可申請中のところ昭和二十九年七月一日付にて「関西大学健康保険組合」設立の認可を受けた。

## 人事異動

任期満了につき短期大学部長代理を解く

教授 佐伯 三郎

昭和二十九年六月三十日付

任期満了につき短期大学部学生部長を解く

教授 角田 文雄

昭和二十九年七月一日付

短期大学部長代理に補す

教授 富山 忠三

昭和二十九年七月一日付

短期大学部学生部長に補す

教授 山口 辰雄

## 学会出張

◇経済学都市原亮平専任講師は四月三十日から五月四日迄早稲田大学に於ける歴史学研究会に出席

◇文学部福本喜之助教授は四月三十日から五月五日まで中央大学における日本独文学会に出席

◇法学部本浪草市助手は四月三十日から五月四日迄中央大学に於ける国際私法学会、東京大学に於ける日本私法学会

◇法学部川上敬逸教授は五月三、四両日

◇法学部池田崇教授は五月二日より七日

◇経済学部三谷友吉、杉原四郎両教授、有田稔助手、商学部柏尾昌哉専任講師は

五月七日から十日まで横浜国立大学

における経済学史学会第九回総会に出

席

◇法学部飯田正一教授は五月一、二両日

◇法学部池田崇教授は五月二日より七日

◇経済学部三谷友吉、杉原四郎両教授、有田稔助手、商学部柏尾昌哉専任講師は

五月七日から十日まで横浜国立大学

における経済学史学会第九回総会に出

席

◇法学部飯田正一教授は五月一、二両日





製作論	講師 金戸 嘉七
内外時事解説	講師 木村 達雄
英語(一)(二)	講師 木村 春彦
自然地理学概説	講師 久山 康
宗教学概論	講師 倉石 精一
心理学概論	講師 小山 隆
社会学概論	講師 小山 隆
世論	講師 神津 東雄
英語学概論	講師 佐野 一男
仏文学作品研究(一)	講師 齊藤 清
仏文学作品研究(二)	講師 榎原 美文
独(一)語(二)	講師 潮崎 俊一
近代文学	講師 ジュナイレビ
实用英語	講師 杉原 稚
数学概論	講師 菅沼 舜治
英語(一)	講師 莊保 三郎
仏語(一)	講師 須田 省三
生物学	講師 田中 健一
職業科教育法	講師 田中 栄一
仏文学演習(一)	講師 田中 栄一
仏語(一)	講師 竹村 茂助
印度哲学史概説	講師 高島 寛我
英語(二)	講師 玉木意志 太宰
日本史料講義	講師 竹田 聰洲
日本史特殊講義A	講師 田辺 純夫
仏語(二)	

西洋哲学史概説(一)B	講師 高田武四郎
西洋美学史	講師 辻部政太郎
美文学概論	講師 辻部政太郎
演劇学概論	講師 辻部政太郎
支那語(初級)	講師 辻部政太郎
支那語(中級)	講師 辻部政太郎
独文学作品研究(一)	講師 中村 恒雄
独文学作品研究(二)	講師 中村 恒雄
国語学概論	講師 林 和比古
仏語(四)	講師 原 政夫
人文地理学概説	講師 樋口 節夫
放送論	講師 藤田 義信
仏語(二)	講師 堀井令以知
外国語科教育	講師 増山 節夫
法文学	講師 松岡慎一郎
東洋文学	講師 松岡慎一郎
支那文学演習	講師 広田 君美
社会心理学	講師 三宅川 正
英語(二)	講師 溝辺 龍雄
英語(三)	講師 水谷 撥一
社会学	講師 森 東吾
独(四)語(三)	講師 矢野 純臣
仏語(三)	講師 矢野 常有
独(一)語(二)	講師 米田 巍
倫理学	講師 吉田 安雄
仏文学史	講師 当津 武彦
独文学特殊講義	講師 田中 俊一
哲学特殊講義	講師 小牧 健夫
日本史特殊講義	講師 樋元 和一
独(一)語(一)	講師 柴田 実
専門国語	講師 梶野 胤
独(三)語(三)	講師 秋本 吉郎
独(四)語(四)	講師 荒木 泰
仏語(二)	講師 宇野 史朗
独(二)語(二)	講師 大崎 義雄

仏語(一)C	講師 鎌田 博夫
経済学	講師 鎌田 博夫
日本経済史	教授 鑄方 貞亮
経済学	教授 鑄方 貞亮
外国書講義	教授 沢村 栄治
経済学	教授 沢村 栄治
演習	教授 杉原 四郎
国際経済論	教授 杉原 四郎
外国書講義	教授 中川庸太郎
演習	教授 中川庸太郎
工業経済学	教授 松原 藤由
演習	教授 松原 藤由
演習	教授 三谷 友吉
演習	教授 三谷 友吉
演習	教授 矢口孝次郎
演習	教授 矢口孝次郎
(在外留学中)	教授 森川 太郎
(在外留学中)	教授 森川 太郎
西洋経済史	教授 高木 秀玄
英語経済書講義	教授 高木 秀玄
外国書講義	教授 荒井 政治
演習	教授 荒井 政治
農業経済学	教授 市原 亮平
外国書講義	教授 市原 亮平
演習	教授 東井 正美
民法	教授 正井 敬次
政治学	教授 正井 敬次
政治学	教授 正井 敬次
経済地理	教授 岩崎 卯一
英語(二)	教授 岩崎 卯一
英語(三)	教授 宇田 米夫
経済哲学	教授 榎本金次郎
短大教授	教授 榎本金次郎
短大教授	教授 加藤由次郎

日本文学	文学部 金子又兵衛
商学	短大 河村 信一
英語(一)	文学部 進藤浩二郎
英語(二)	文学部 進藤浩二郎
人類学	文学部 高橋 盛孝
倫理学	文学部 高橋 盛孝
仏語(四)	文学部 田中 熙
物理学	文学部 田中 熙
行政学	短大 橋田 慶蔵
心理学	文学部 中井 駿二
英(一)語(四)	文学部 中井 駿二
英(二)語(四)	文学部 中井 駿二
社会学	文学部 中井 駿二
独(三)語(二)	文学部 中井 駿二
独(二)語(二)	文学部 中井 駿二
独(一)語(二)	文学部 中井 駿二
生物学	文学部 中井 駿二
日本国憲法	文学部 中井 駿二
陸上競技	文学部 中井 駿二
体育講義	文学部 中井 駿二
独(一)語(二)	文学部 中井 駿二
東洋文学	文学部 中井 駿二
独(一)語(二)	文学部 中井 駿二
独(二)語(二)	文学部 中井 駿二
独(三)語(二)	文学部 中井 駿二
独(四)語(二)	文学部 中井 駿二
独(五)語(二)	文学部 中井 駿二
独(六)語(二)	文学部 中井 駿二
独(七)語(二)	文学部 中井 駿二
独(八)語(二)	文学部 中井 駿二
独(九)語(二)	文学部 中井 駿二
独(十)語(二)	文学部 中井 駿二
独(十一)語(二)	文学部 中井 駿二
独(十二)語(二)	文学部 中井 駿二
独(十三)語(二)	文学部 中井 駿二
独(十四)語(二)	文学部 中井 駿二
独(十五)語(二)	文学部 中井 駿二
独(十六)語(二)	文学部 中井 駿二
独(十七)語(二)	文学部 中井 駿二
独(十八)語(二)	文学部 中井 駿二
独(十九)語(二)	文学部 中井 駿二
独(二十)語(二)	文学部 中井 駿二
独(二十一)語(二)	文学部 中井 駿二
独(二十二)語(二)	文学部 中井 駿二
独(二十三)語(二)	文学部 中井 駿二
独(二十四)語(二)	文学部 中井 駿二
独(二十五)語(二)	文学部 中井 駿二
独(二十六)語(二)	文学部 中井 駿二
独(二十七)語(二)	文学部 中井 駿二
独(二十八)語(二)	文学部 中井 駿二
独(二十九)語(二)	文学部 中井 駿二
独(三十)語(二)	文学部 中井 駿二
独(三十一)語(二)	文学部 中井 駿二
独(三十二)語(二)	文学部 中井 駿二
独(三十三)語(二)	文学部 中井 駿二
独(三十四)語(二)	文学部 中井 駿二
独(三十五)語(二)	文学部 中井 駿二
独(三十六)語(二)	文学部 中井 駿二
独(三十七)語(二)	文学部 中井 駿二
独(三十八)語(二)	文学部 中井 駿二
独(三十九)語(二)	文学部 中井 駿二
独(四十)語(二)	文学部 中井 駿二
独(四十一)語(二)	文学部 中井 駿二
独(四十二)語(二)	文学部 中井 駿二
独(四十三)語(二)	文学部 中井 駿二
独(四十四)語(二)	文学部 中井 駿二
独(四十五)語(二)	文学部 中井 駿二
独(四十六)語(二)	文学部 中井 駿二
独(四十七)語(二)	文学部 中井 駿二
独(四十八)語(二)	文学部 中井 駿二
独(四十九)語(二)	文学部 中井 駿二
独(五十)語(二)	文学部 中井 駿二
独(五十一)語(二)	文学部 中井 駿二
独(五十二)語(二)	文学部 中井 駿二
独(五十三)語(二)	文学部 中井 駿二
独(五十四)語(二)	文学部 中井 駿二
独(五十五)語(二)	文学部 中井 駿二
独(五十六)語(二)	文学部 中井 駿二
独(五十七)語(二)	文学部 中井 駿二
独(五十八)語(二)	文学部 中井 駿二
独(五十九)語(二)	文学部 中井 駿二
独(六十)語(二)	文学部 中井 駿二
独(六十一)語(二)	文学部 中井 駿二
独(六十二)語(二)	文学部 中井 駿二
独(六十三)語(二)	文学部 中井 駿二
独(六十四)語(二)	文学部 中井 駿二
独(六十五)語(二)	文学部 中井 駿二
独(六十六)語(二)	文学部 中井 駿二
独(六十七)語(二)	文学部 中井 駿二
独(六十八)語(二)	文学部 中井 駿二
独(六十九)語(二)	文学部 中井 駿二
独(七十)語(二)	文学部 中井 駿二
独(七十一)語(二)	文学部 中井 駿二
独(七十二)語(二)	文学部 中井 駿二
独(七十三)語(二)	文学部 中井 駿二
独(七十四)語(二)	文学部 中井 駿二
独(七十五)語(二)	文学部 中井 駿二
独(七十六)語(二)	文学部 中井 駿二
独(七十七)語(二)	文学部 中井 駿二
独(七十八)語(二)	文学部 中井 駿二
独(七十九)語(二)	文学部 中井 駿二
独(八十)語(二)	文学部 中井 駿二
独(八十一)語(二)	文学部 中井 駿二
独(八十二)語(二)	文学部 中井 駿二
独(八十三)語(二)	文学部 中井 駿二
独(八十四)語(二)	文学部 中井 駿二
独(八十五)語(二)	文学部 中井 駿二
独(八十六)語(二)	文学部 中井 駿二
独(八十七)語(二)	文学部 中井 駿二
独(八十八)語(二)	文学部 中井 駿二
独(八十九)語(二)	文学部 中井 駿二
独(九十)語(二)	文学部 中井 駿二
独(九十一)語(二)	文学部 中井 駿二
独(九十二)語(二)	文学部 中井 駿二
独(九十三)語(二)	文学部 中井 駿二
独(九十四)語(二)	文学部 中井 駿二
独(九十五)語(二)	文学部 中井 駿二
独(九十六)語(二)	文学部 中井 駿二
独(九十七)語(二)	文学部 中井 駿二
独(九十八)語(二)	文学部 中井 駿二
独(九十九)語(二)	文学部 中井 駿二
独(一百)語(二)	文学部 中井 駿二
独(一百零一)語(二)	文学部 中井 駿二
独(一百零二)語(二)	文学部 中井 駿二
独(一百零三)語(二)	文学部 中井 駿二
独(一百零四)語(二)	文学部 中井 駿二
独(一百零五)語(二)	文学部 中井 駿二
独(一百零六)語(二)	文学部 中井 駿二
独(一百零七)語(二)	文学部 中井 駿二
独(一百零八)語(二)	文学部 中井 駿二
独(一百零九)語(二)	文学部 中井 駿二
独(一百一十)語(二)	文学部 中井 駿二
独(一百一十一)語(二)	文学部 中井 駿二
独(一百一十二)語(二)	文学部 中井 駿二
独(一百一十三)語(二)	文学部 中井 駿二
独(一百一十四)語(二)	文学部 中井 駿二
独(一百一十五)語(二)	文学部 中井 駿二
独(一百一十六)語(二)	文学部 中井 駿二
独(一百一十七)語(二)	文学部 中井 駿二
独(一百一十八)語(二)	文学部 中井 駿二
独(一百一十九)語(二)	文学部 中井 駿二
独(一百二十)語(二)	文学部 中井 駿二
独(一百二十一)語(二)	文学部 中井 駿二
独(一百二十二)語(二)	文学部 中井 駿二
独(一百二十三)語(二)	文学部 中井 駿二
独(一百二十四)語(二)	文学部 中井 駿二
独(一百二十五)語(二)	文学部 中井 駿二
独(一百二十六)語(二)	文学部 中井 駿二
独(一百二十七)語(二)	文学部 中井 駿二
独(一百二十八)語(二)	文学部 中井 駿二
独(一百二十九)語(二)	文学部 中井 駿二
独(一百三十)語(二)	文学部 中井 駿二
独(一百三十一)語(二)	文学部 中井 駿二
独(一百三十二)語(二)	文学部 中井 駿二
独(一百三十三)語(二)	文学部 中井 駿二
独(一百三十四)語(二)	文学部 中井 駿二
独(一百三十五)語(二)	文学部 中井 駿二
独(一百三十六)語(二)	文学部 中井 駿二
独(一百三十七)語(二)	文学部 中井 駿二
独(一百三十八)語(二)	文学部 中井 駿二
独(一百三十九)語(二)	文学部 中井 駿二
独(一百四十)語(二)	文学部 中井 駿二
独(一百四十一)語(二)	文学部 中井 駿二
独(一百四十二)語(二)	文学部 中井 駿二
独(一百四十三)語(二)	文学部 中井 駿二
独(一百四十四)語(二)	文学部 中井 駿二
独(一百四十五)語(二)	文学部 中井 駿二
独(一百四十六)語(二)	文学部 中井 駿二
独(一百四十七)語(二)	文学部 中井 駿二
独(一百四十八)語(二)	文学部 中井 駿二
独(一百四十九)語(二)	文学部 中井 駿二
独(一百五十)語(二)	文学部 中井 駿二
独(一百五十一)語(二)	文学部 中井 駿二
独(一百五十二)語(二)	文学部 中井 駿二
独(一百五十三)語(二)	文学部 中井 駿二
独(一百五十四)語(二)	文学部 中井 駿二
独(一百五十五)語(二)	文学部 中井 駿二
独(一百五十六)語(二)	文学部 中井 駿二
独(一百五十七)語(二)	文学部 中井 駿二
独(一百五十八)語(二)	文学部 中井 駿二
独(一百五十九)語(二)	文学部 中井 駿二
独(一百六十)語(二)	文学部 中井 駿二
独(一百六十一)語(二)	文学部 中井 駿二
独(一百六十二)語(二)	文学部 中井 駿二
独(一百六十三)語(二)	文学部 中井 駿二
独(一百六十四)語(二)	文学部 中井 駿二
独(一百六十五)語(二)	文学部 中井 駿二
独(一百六十六)語(二)	文学部 中井 駿二
独(一百六十七)語(二)	文学部 中井 駿二
独(一百六十八)語(二)	文学部 中井 駿二
独(一百六十九)語(二)	文学部 中井 駿二
独(一百七十)語(二)	文学部 中井 駿二
独(一百七十一)語(二)	文学部 中井 駿二
独(一百七十二)語(二)	文学部 中井 駿二
独(一百七十三)語(二)	文学部 中井 駿二
独(一百七十四)語(二)	文学部 中井 駿二
独(一百七十五)語(二)	文学部 中井 駿二
独(一百七十六)語(二)	文学部 中井 駿二
独(一百七十七)語(二)	文学部 中井 駿二
独(一百七十八)語(二)	文学部 中井 駿二
独(一百七十九)語(二)	文学部 中井 駿二
独(一百八十)語(二)	文学部 中井 駿二
独(一百八十一)語(二)	文学部 中井 駿二
独(一百八十二)語(二)	文学部 中井 駿二
独(一百八十三)語(二)	文学部 中井 駿二
独(一百八十四)語(二)	文学部 中井 駿二
独(一百八十五)語(二)	文学部 中井 駿二
独(一百八十六)語(二)	文学部 中井 駿二
独(一百八十七)語(二)	文学部 中井 駿二
独(一百八十八)語(二)	文学部 中井 駿二
独(一百八十九)語(二)	文学部 中井 駿二
独(一百九十)語(二)	文学部 中井 駿二
独(一百九十一)語(二)	文学部 中井 駿二
独(一百九十二)語(二)	文学部 中井 駿二
独(一百九十三)語(二)	文学部 中井 駿二
独(一百九十四)語(二)	文学部 中井 駿二
独(一百九十五)語(二)	文学部 中井 駿二
独(一百九十六)語(二)	文学部 中井 駿二
独(一百九十七)語(二)	文学部 中井 駿二
独(一百九十八)語(二)	文学部 中井 駿二
独(一百九十九)語(二)	文学部 中井 駿二
独(二百)語(二)	文学部 中井 駿二
独(二百零一)語(二)	文学部 中井 駿二
独(二百零二)語(二)	文学部 中井 駿二
独(二百零三)語(二)	文学部 中井 駿二
独(二百零四)語(二)	文学部 中井 駿二
独(二百零五)語(二)	文学部 中井 駿二
独(二百零六)語(二)	文学部 中井 駿二
独(二百零七)語(二)	文学部 中井 駿二
独(二百零八)語(二)	文学部 中井 駿二
独(二百零九)語(二)	文学部 中井 駿二
独(二百一十)語(二)	文学部 中井 駿二
独(二百一十一)語(二)	文学部 中井 駿二
独(二百一十二)語(二)	文学部 中井 駿二
独(二百一十三)語(二)	文学部 中井 駿二
独(二百一十四)語(二)	文学部 中井 駿二
独(二百一十五)語(二)	文学部 中井 駿二
独(二百一十六)語(二)	文学部 中井 駿二
独(二百一十七)語(二)	文学部 中井 駿二
独(二百一十八)語(二)	文学部 中井 駿二
独(二百一十九)語(二)	文学部 中井 駿二
独(二百二十)語(二)	文学部 中井 駿二
独(二百二十一)語(二)	文学部 中井 駿二
独(二百二十二)語(二)	文学部 中井 駿二
独(二百二十三)語(二)	文学部 中井 駿二
独(二百二十四)語(二)	文学部 中井 駿二
独(二百二十五)語(二)	文学部 中井 駿二
独(二百二十六)語(二)	文学部 中井 駿二
独(二百二十七)語(二)	文学部 中井 駿二
独(二百二十八)語(二)	文学部 中井 駿二
独(二百二十九)語(二)	文学部 中井 駿二
独(二百三十)語(二)	文学部 中井 駿二
独(二百三十一)語(二)	文学部 中井 駿二
独(二百三十二)語(二)	文学部 中井 駿二
独(二百三十三)語(二)	文学部 中井 駿二
独(二百三十四)語(二)	文学部 中井 駿二
独(二百三十五)語(二)	文学部 中井 駿二
独(二百三十六)語(二)	文学部 中井 駿二
独(二百三十七)語(二)	文学部 中井 駿二
独(二百三十八)語(二)	文学部 中井 駿二
独(二百三十九)語(二)	文学部 中井 駿二
独(二百四十)語(二)	文学部 中井 駿二
独(二百四十一)語(二)	文学部 中井 駿二
独(二百四十二)語(二)	文学部 中井 駿二
独(二百四十三)語(二)	文学部 中井 駿二
独(二百四十四)語(二)	文学部 中井 駿二
独(二百四十五)語(二)	文学部 中井 駿二
独(二百四十六)語(二)	文学部 中井 駿二
独(二百四十七)語(二)	文学部 中井 駿二
独(二百四十八)語(二)	文学部 中井 駿二



英 語(一)	講師 菅沼 舜治
公 企 業 論	講師 竹中 龍雄
演 營 經 濟 學	講師 田杉 競
英 語(四)	講師 田辺 清市
英 語(三)	講師 吉田 安雄
英 語(二)	講師 玉木意志 太宰
財 政 學	講師 中川与之助
獨 語(一)	講師 中村 恒雄
人 文 地 理	講師 中村良之助
外 國 經 濟 情 形	講師 細野 武雄
經 濟 思 想 史	講師 堀 經夫
英 語(三)	講師 水谷 揆一
英 語(二)	講師 三宅川 正
獨 語(一)	講師 米田 巍
哲 學	講師 細川 董
日 本 史	講師 村山 修一
統 計 學	講師 足利 末男
社 會 學	講師 棚瀬 塞爾
財 政 學 總 論	講師 小谷 義次
國 際 金 融 論	講師 松井 清
經 濟 統 計 學	講師 上杉正一郎
數 理 經 濟 學	講師 馬場 吉行
民 法 I	講師 太田 武男
獨 語(二)	講師 笠松 一夫
仏 語(一)	講師 小方 厚彦
仏 語(二)	講師 田辺 純夫
仏 語(三)	講師 堀井令以知
仏 語(四)	講師 原 政夫

仏 語(四)	講師 宇野 史郎
獨 語(四)	講師 矢野 純臣
獨 語(四)	講師 鈴木 重貞
論 理 學	講師 当津 武彦
<b>商 學 部</b>	
銀行及信託論	教授 板橋 菊松
証券市場論	教授 今西庄次郎
經濟政策	教授 植野 郁太
會計學總論	教授 河野 稔
社會思想史	教授 河村 宜介
社會政策	教授 賀屋 俊雄
配給論	教授 山口 辰雄
商業經濟學	教授 山崎 紀男
貿易英語(一)	教授 柏尾 昌哉
貿易英語(二)	教授 酒井 文雄
金融經濟論	
銀行及信託論	
貨幣論	
英語講義	
外國書講義	
外國貿易論	
外國書講義	
外國書特別研究	
外國書特別研究	
會計學特別研究	

簿 記(一)	教授 富山 忠三
工業簿記座價計算	講師 久保出資 郎
生 物 學	講師 須田 省三
企業財務論	講師 丹波康太郎
簿 記(II)	講師 堀江 義広
標準原価予算統制	講師 溝口 一雄
經營比較論	講師 岡部 利良
生産管理論	講師 嘉田 隆美
商業数学	講師 山口吉兵衛
會計監査及分析	講師 山榊 忠恕
日 本 文 學	教授 飯田 正一
數 學	講師 松村 宗治
英 語(一)	專任講師 大西 昭夫
英 語(四)	專任講師 大西 昭夫
(註) 一般教育及補助科目は經濟學部 と同一擔當者)	

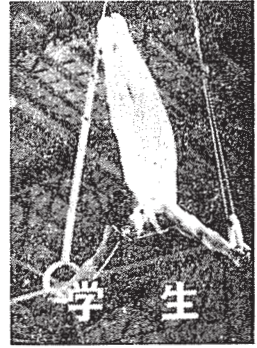
民法學研究	講義 教授 木村 健助
民法學研究(二)	演習 教授 明石 三郎
民法學研究(三)	演習 教授 西本 寛一
商法學研究	講義 教授 西本 寛一
國際法學研究	講義 教授 西本 寛一
英米法研究	講義 教授 大坂谷 公雄
法制史研究	講義 教授 猪熊 兼繁
<b>博士課程</b>	
(在外留學中)	教授 中谷 敬寿
國法學特殊講義	教授 渡辺 宗太郎
<b>文學研究科</b>	
<b>修士課程</b>	
比較文學研究	講義 教授 堀 正人
英語及英米文學研究	演習 教授 山田松太郎
英語及英米文學研究	演習 教授 沢瀉 久孝
國語及國文學研究	演習 教授 飯田 正一
國語及國文學研究	演習 教授 金子又兵衛
國語及國文學研究	講義 教授 吉永 登
哲學及哲學史研究	講義 教授 岡野留次郎
哲學及哲學史研究	演習 教授 田中 熙

哲学及哲学史研究	講義	教授	大小島真二
東洋史	講義	教授	石浜純太郎
支那文学研究	講義	教授	高橋 盛孝
支那哲学研究	講義	教授	壺井 義正
日本史研究	講義	教授	末永 雅雄
考古学研究	講義	教授	横田 健一
日本史研究	講義	教授	原 弘二
西洋史	講義	教授	石田 憲次
英語及英米文学研究	講義	教授	小島 吉雄
大陸文学研究	講義	教授	渡辺 格司
英語及英米文学研究	講義	講師	山本 忠雄
英語及英米文学研究	講義	講師	中西信太郎
日本史研究	講義	講師	魚澄惣五郎
日本史研究	講義	講師	岩倉 具実
古典語研究	講義	講師	辻部政太郎
美術及美術史研究	講義	講師	沢田 久孝
上古及中古文学	講義	教授	飯田 正一
近古及近世文学	講義	教授	飯田 正一

近古及近世文学	講義	教授	金子又兵衛
經濟學研究科	修士課程		
經濟理論研究	講義	教授	三谷 友吉
(在外留學生中)	講義	教授	森川 太郎
証券經濟論研究	講義	教授	今西庄次郎
信託經濟論研究	講義	教授	板橋 菊松
景氣變動論研究	講義	教授	中川庸太郎
一般經濟史研究	講義	教授	矢口孝次郎
日本經濟史研究	講義	教授	眞亮
會計学研究	講義	教授	久保田音二郎
財政学研究	講義	講師	中川与之助
經濟學史研究	講義	講師	堀 經夫
國際經濟論研究	講義	講師	正井 敬次
ドイツ經濟史研究	講義	講師	宮下 孝吉
企業財務論研究	講義	講師	丹波康太郎
監査論研究	講義	講師	陶山誠太郎
証券研究特殊	講義	教授	今西庄次郎
短期大学	一、二部		
商業概論	講義	教授	佐伯 三郎
英語	講義	教授	角田 文雄

簿記會計學	講義	教授	富山 忠三
英語講義	講義	教授	山口 辰雄
英語	講義	教授	加藤由次郎
英語	講義	教授	河村 信一
數學	講義	教授	橋田 慶藏
商學	講義	教授	入江 深
工業	講義	教授	宇田 米夫
工場	講義	教授	鯉江 城夫
工業	講義	教授	松原 藤由
工業	講義	教授	河村 宜介
工業	講義	教授	沢村 栄治
工業	講義	教授	賀屋 俊雄
工業	講義	教授	井上吉次郎
工業	講義	教授	田中 熙
工業	講義	教授	池垣定太郎
工業	講義	教授	石尾 芳久
工業	講義	教授	内田 修
工業	講義	教授	岩本 慧
工業	講義	教授	河合 信雄

經濟學	講義	教授	柏尾 昌哉
教育心理學	講義	教授	辻岡 美延
教育心理學	講義	教授	大坪 一
教育心理學	講義	教授	久保田 肇
教育心理學	講義	教授	中村 精
教育心理學	講義	教授	平山 政市
教育心理學	講義	教授	木内 佳市
教育心理學	講義	教授	稲葉 襄
教育心理學	講義	教授	川並 秀雄
教育心理學	講義	教授	水谷 撥一
教育心理學	講義	教授	今井 啓一
教育心理學	講義	教授	和田 正史
教育心理學	講義	教授	笠井 信男
教育心理學	講義	教授	植田 忠男
教育心理學	講義	教授	藤川 建治
教育心理學	講義	教授	生地 幸雄
教育心理學	講義	教授	逢坂 勝見
教育心理學	講義	教授	長柄 金吾
教育心理學	講義	教授	樋元 和一
教育心理學	講義	教授	石渡 俊一
教育心理學	講義	教授	小林 繁
教育心理學	講義	教授	鈴木 祥藏
教育心理學	講義	教授	川口 勇
教育心理學	講義	教授	寛田 知義
教育心理學	講義	教授	レイベー
教育心理學	講義	教授	ギブソン



### 關西大學創立七十周年 記念交歓野球戦

東京六大学の雄、慶大を甲子園に迎え、本学創立七十周年記念交歓野球戦は六月十七日日本学、岩崎学長の始球によって開始。一回表、慶大無得点のあと、本学は小田、西村のヒットで一点、続いて二回、慶大無為のあと平井、西村等のタイムリーなヒットで二点を加え、幸先のないスタートを切つたが、先発中西投手は制球に苦しみ、徐々に加点され、遂に六回で同点、八回慶大は近藤、日野のヒットに藤田がタイムリーにレフト前にテキサスヒットして勝越しの一点を加えたが、本学もねばり強さを發揮し九回裏、香川のセンター前ヒット、ピンチランナー野口が二盗に成功、その後西山がレフト前に痛打して延長戦に持ち込んだ。延長戦の十回、慶大、藤田が近藤をおいて、タイムリーに再度センター前にヒットし一点を加え、その裏、本学必死の攻撃も無為に終はり惜敗した。当日のスコア

次の通り。

慶大 0 0 1 1 1 1 0 1 0 1 6  
関大 1 2 0 0 0 1 0 0 1 0 5  
於甲子園

### 第四回西日本体競に優勝

六月十二、十三両日広島大学、福山分校体育館に於て開催された第四回西日本学生体操競技選手権大会は天候にも恵まれ第一日、午前九時開会式に始まる各校花々しき激戦を展開させたが、本校は出場予定の山木、坂下の負傷によりその勝敗は試合頭初より憂慮されていたが戸田の好調に団体四位、金沢大学を七八・九五引はなし堂々三位に入賞した。個人種目別選手権に於ては戸田が徒手吊環に優勝した。

(カトツは戸田君の妙技)

### 文化祭

七月三・四両日産経会館に於いて恒例の文化祭が開催された。

第一日は開会の辞、K・B・C放送の放送劇「昔話桃太郎」、能楽部の狂言「蝸虫」、演劇部のロマンローラン作「愛と死のたはむれ」、グリーククラブの世界民謡めぐり軽音楽部のジャズシンフォニック、邦楽部の「白い花の咲く頃」等の多彩なプログラムが繰り展げられた。

第二日も大体同様のプログラムであったが、昨年暴発した応援団プラスチックや交響楽部の演奏等が加えられ、盛大をきはめた。

### 関大新聞復刊一〇〇號記念祭

新聞会では関西大学新聞、復刊第一〇〇號記念祭を、七月一日、中之島中央公会堂で午前十時十分開会、本学よりは、

(5頁より続き)

席

- ◇文学部川口勇助教授、辻岡美延専任講師は五月一日から八日まで東京教育大学における日本心理学会に出席
- ◇文学部鈴木祥藏、寛田知義両助教授、辻岡美延専任講師は五月二日から八日までお茶の水女子大学における日本教育学会に出席
- ◇文学部吉永登教授は五月一日から五日まで愛媛大学における万葉学会に出席
- ◇商学部板橋菊松教授は五月八日から十六日まで私学連合常任委員会に出席
- ◇文学部田中熙教授は五月二十日から二十三日まで香川大学における関西倫理学会に出席
- ◇経済学部沢村栄治、杉原四郎両教授、高本昇助手、商学部安田信一教授は五月二十二、三両日和歌山大学における理論経済学会関西支部に出席
- ◇商学部板橋菊松教授は五月二十六日から六月一日まで学会並に各大学視察のため出張
- ◇商学部酒井文雄専任講師、清水宗一助手、短期大学部富山忠三教授は五月二十八日から六月一日まで慶応義塾大学における日本会計研究学会に出席
- ◇経済学部松原藤由教授、商学部今西庄次郎教授は五月二十八日から六月一日まで中央大学における日本経済政策学会に出席
- ◇文学部原弘二郎教授、秋山博愛専任講師は五月二十八日より六月一日まで九州大学における日本西洋史学会に出席
- ◇短期大学部太田雞一教授は五月三十一日から六月四日まで名古屋工業技術大学機械製作所において粉末冶金技術研究会に出席
- ◇文学部小方厚彦専任講師は六月三日から七日まで中央大学及び学習院大学における日本フランス語学会及び日本フランス文学会に出席





校友ハツチ

# 校友

## 燎原会

関西大学第二商業学校卒業生（昭和元年を第一期とし昭和二十年より二十期迄）で現在法曹界に籍を有する者で二商法曹会を結成しようとの気運は昭和二十七年の春頃から、古い名簿等をたよりに調べ一応整理できたので昭和二十七年六月二十八日阿倍野「唐崎」で結成会を兼ね第一回総会を開き、本会を「燎原会」と命名し春秋二回総会を開くこととなった。

- 本会々員（期別による）
- 二期 阿久根幸吉（弁護士）、河村秀信（弁護士）
  - 三期 河内兼三（弁護士）、今井勝（弁護士）
  - 三期 福岡彰郎（弁護士）、依田六郎（判事）
  - 三期 岡田退（判事）
  - 四期 塩見利夫（弁護士）、福地壽三（判事）
  - 五期 森健（弁護士）、竹内猛（判事）、辻本修（判事）、小川秀一（弁護士）、子原一夫（判事）
  - 五期 高橋文忠（判事）
  - 八期 宮川仁（弁護士）
  - 九期 福山忠義（判事）、林正三（判事）
  - 十期 山本久巳（判事）、山田光夫（判事）
  - 十期 後岡弘（判事）、日高良雄（弁護士）
  - 十三期 伊藤秀一（弁護士）、田村徳夫（判事）、大野修弘（弁護士）
  - 十四期 大井亨（弁護士）、倉橋春雄（判事）、鈴木芳一（判事）
  - 十五期 小島信勝（判事）、中本照規（判事）、森島忠三（判事）
  - 十六期 野村清美（判事）

なお去る六月五日午後五時より東区伏見町「与太呂」にて本年度春の総会を開き、学校より四辻先生、元二商で教鞭をとつておられた山崎敬義公証人の出席を得、会員として河村氏、河内氏、塩見氏、福地氏、竹内氏、辻本氏、山本氏、後岡氏、伊藤氏、倉橋氏、中本氏等の出席、午後九時盛會裡に散会した。

## 旭區支部

去る四月十七日千林商店街組合館にて旭區支部創立総会が開催され、席上満場一致で名誉支部長高井真治氏、支部長寺西武氏に決定した。

- 当日出席者
- 学校側 安井専務理事 安井校友課長
- 支部側
- 寺西 武 川田 実 東浦 兼一
  - 篠原 昭三 藤原 一巳 常盤 豊三
  - 岩根 昌彦 西田 輝雄 朝倉 茂男
  - 越田 寿幸 青野 豊 赤松 芳一
  - 若山 重正 出石 憲司 藤村光良子
  - 前田 正二 斎藤 紀一 藤田 広一
  - 川中米太郎 染本 次郎 山根 龍吉
  - 奥谷 博三 六車 幸士 横山 登
  - 竹中多賀子 高井 真治 松原 重義
  - 吉田 泰高 上田 忠男 松阪 太郎
  - 岡本 謙雄 中多 重信 森 稔
  - 木村 雅明 野田 澄彦 平井 修治
  - 武田 昭三 梅本 茂雄 横山 甚一
  - 加藤 武 橋田 悟 堀 清一郎
  - 中川 裕元 山田 龍生 西井 滋
  - 大森 俊次 小井戸 茂 武嶋 博

## 布施支部總會

第三回布施支部總會は、六月十三日午前十一時新緑の母校大学ホールにて上田幹事司会で開催され、先づ塚本支部長の



布施支部

挨拶に次ぎ、岩崎學長の談話、安井校友課長より現状説明などあり、引きつゞき正副支部長の改選、満場一致塚本支部長、森喬、広実郁雄両副支部長の重任が決定し、盛會裡に閉会の後、学園内を見学午後四時散会した。

- 出席者
- 大学側 岩崎學長 安井校友課長
- 支部側
- 塚本万次郎 治島 常徳 森 喬
  - 白石 光雄 広実 郁雄 松生 博武
  - 石井 庄逸 和田 二郎 城戸 盛雄
  - 水野 二郎 平尾 豊男 高橋 正次
  - 永昌 國臣 上田虎弥太 高原 順吉
  - 大南 卓 丹沢 恒子 吉田 秀之
  - 中井 淳一 黒田寿美雄 焼野 清
  - 篠原 昭寛 滝住 光二 山口左一郎
  - 西沢 馨 宮越 功

## 千里山十期会

五月雨の廿二日、午後六時廿分河内兼



千里山十期会

三氏より開会の挨拶あり、次いで母校矢野文雄常務監事（久井専務理事欠席の爲め）より母校の経営並に近況に関する詳細なる説明あり、竹沢喜代治氏の提案で幹事選定の結果会長に矢野文雄、副会長に河内兼三、幹事に森下善雄、長谷川清一、中山巖各氏が指名され、今後の世話を務めることとなった。なお毎月例会一水会を七月より実施することになった。当日石川や三重県よりも駆け参じた者もあり、和氣霽々の裡に午後九時散会。

- 出席者氏名（順不同、敬称略）
- 浅野 時男 石崎 庄逸 糸田川信勝
  - 榎生 真玄 榎本金次郎 河内 兼三
  - 川並 秀雄 小島龍太郎 高久 直信
  - 竹沢喜代治 田中 義雄 中山 巖
  - 野間 秀慶 長谷川清一 福岡 彰郎
  - 本多 喜慶 松谷 運哉 森 稔
  - 森下 善雄 矢野 文雄 安井勝太郎

# 感謝録

別項記載の通り、母校創立七十周年記念拡充資金寄附を募集致しました処、その趣旨に御賛同下さいまして陸続左記の通り御寄附をいただきました、六月三十日迄に拝受しました御寄附者の芳名を爰に録し、謹んで感謝の意を表します。

昭和二十九年六月三十日

学校法人 關西大學

## 關西大學七十周年記念

### 拡充資金寄附者芳名 (六)

昭和二十九年六月三十日現在 (順序不同、敬称略)

#### 一、篤志家の部

(才六回)

金百參拾參万円也 山銀硝子株式会社  
 金拾万円也 匿名氏  
 金貳万円也 門田文三  
 金貳千五百六拾円也

計 金百四拾五万貳千五百六拾円也

累計 金五百四拾貳万五千五百六拾円也

#### 二、關係業者の部

(才六回)

金參拾万円也 株式会社西村食堂  
 金貳拾万円也 佐伯欽次(天六  
 學内食堂)  
 計 金五拾万円也  
 累計 金七百四拾貳万七千円也

#### 三、校友の部

##### [1] 地方支部

(イ) 大阪支部 (才三回)

金壹千円也 石原 孫市(昭7大法)  
 計 金壹千円也  
 累計 金百九拾八万五千円也

(ハ) 富山支部

(才一回)

計 金七万円也  
 (内賑は順次掲載します)

金五万円也  
 計 金五万円也

(ト) 徳島支部 (才二回)

金壹千円也 間宮与四郎(昭21大経)  
 計 金壹千円也  
 累計 金參万參千円也

(チ) 豊中支部 (才一回)

金壹万円也 安富 敬作(昭7大政)  
 計 金壹万円也

(リ) 福岡支部 (才一回)

金參千円也 鮫島 正弘(昭16大法)  
 計 金參千円也  
 累計 金貳百八拾貳万六千円也

#### [2] 職域会

(イ) 毎日新聞社関大会

金拾万円也

(ロ) 大阪機械同窓会

金壹万円也

計 金拾壹万円也

累計 金貳拾九万五千円也

#### [3] 同期会

(イ) 昭六会 (才六回)

金五千元也 糸山 菊雄  
 金五千元也 谷真 寅雄  
 金五千元也 足立 喜道  
 金參千円也 田中 俊一  
 計 金壹万八千円也  
 累計 金六拾四万八千五百円也

(ロ) 十期会 (才六回)

金參千円也 岡正 阿作  
 計 金參千円也  
 累計 金四拾五万貳千円也  
 累計 金百八拾六万五百円也

#### [4] 個人

金五千元也 長瀬万壽治(昭5 専法)  
 金五千元也 栗本 義重(昭11 大政)  
 金參千円也 武田 正一(昭24 大経)

總累計 五百五拾七万九千円也

#### 四、教育後援会の部 (才六回)

金貳万円也 井口 守  
 金壹万円也 大川彌太郎  
 金壹万円也 北坂 友吉  
 金壹万円也 菅田 四郎  
 金壹万円也 江頭 那次  
 金八千円也 芦田熊三郎  
 金五千円也 塩見徳太郎  
 金五千円也 加古川義一  
 金五千円也 安藤 梅子  
 金五千円也 大塚 正一  
 金五千円也 吹田 君子  
 金五千円也 片野総一郎  
 金五千円也 松岡 政彦  
 金參千円也 猪倉 勇助  
 金參千円也 畑井 徳一  
 金參千円也 中西大三郎  
 金參千円也 橋本 友藏  
 金參千円也 畦本 進邦  
 金參千円也 池内得太郎  
 金參千円也 田中 文熊  
 金參千円也 山崎 五郎

山本 行平(昭15 大経)  
 羽間 平安(昭27学一政)  
 辻本 直正(昭25 大法)  
 荒木 健次(昭25学一政)  
 猪子 弘(昭20 専法)  
 倉谷 修(昭11 大商)  
 金壹千円也 大谷 利造(昭25 専一経)  
 星野太市郎(昭29 学一経)  
 前田 正明(昭28 学一経)  
 庄司佐兵衛(大13 専経)  
 金壹千円也 馬川喜久三(昭16 大法)

金参千円也 小野梅吉  
 金参千円也 青木染工場  
 金武千円也 東出長司  
 金武千円也 本間卯之助  
 金武千円也 田中覚治郎  
 金武千円也 清川忠治  
 金武千円也 山口秀盛  
 金武千円也 田路徳和歌  
 金武千円也 奥村納  
 金武千円也 安田政夫  
 金武千円也 青砥正一  
 金武千円也 大西繁次  
 金武千円也 大倉真一  
 金武千円也 古田リヨ  
 金武千円也 丸上幸一  
 金武千円也 上田藤二郎  
 金武千円也 森正雄  
 金武千円也 奥田助三郎  
 金武千円也 池井金雄  
 金武千円也 林信次郎  
 金武千円也 矢野一馬  
 金武千円也 平山文信  
 金武千円也 妹尾正  
 金武千円也 連多  
 金武千円也 土倉岩太郎  
 金武千円也 津田広二  
 金武千円也 山本徳久  
 金武千円也 寺北由太郎  
 金武千円也 栗栖庄治郎  
 金武千円也 奥野庄太郎  
 金武千円也 小西通義  
 金武千円也 白石信介  
 金武千円也 橋本静子  
 金武千円也 安田要  
 金武千円也 山本小松  
 金武千円也 竹原良一  
 金武千円也 宮脇善高  
 金武千円也 吉村重一

金壹千円也 梅原柏造  
 金壹千円也 山本理三郎  
 金壹千円也 小松秀之助  
 金壹千円也 上田藤次郎  
 金壹千円也 菊田久男  
 金壹千円也 岸本辰之助  
 金壹千円也 森岡忠輝  
 金壹千円也 笠井友治  
 金壹千円也 前島連一  
 金壹千円也 西山孝夫  
 金壹千円也 古米利夫  
 金壹千円也 鏑理一  
 金壹千円也 岩本義雄  
 金壹千円也 坪田三治  
 金壹千円也 中川勇一  
 金壹千円也 今西頼光  
 金壹千円也 辰巳經一  
 金壹千円也 大黒房野  
 金壹千円也 栗原正一  
 金壹千円也 如中留一  
 金壹千円也 多田伊太郎  
 金壹千円也 畑中留一  
 金壹千円也 川添信子  
 金壹千円也 田中ハナコ  
 金壹千円也 中井九郎兵衛  
 金壹千円也 築谷源兵衛  
 金壹千円也 米田理一郎  
 金壹千円也 片瀬関一  
 金壹千円也 古川光次  
 金壹千円也 瀬川一雄  
 金壹千円也 藤森善吉  
 金壹千円也 梶野久吉  
 金壹千円也 奥野幸三郎  
 金壹千円也 平山春吉  
 金壹千円也 稻葉榮三  
 金壹千円也 藤木太郎  
 金壹千円也 小林源昇  
 金壹千円也 岡村源昇

金壹千円也 朝日茂  
 金壹千円也 玉野榮吉  
 金壹千円也 宇佐美鉄治  
 金壹千円也 岡本実  
 金壹千円也 馬場ツルノ  
 金壹千円也 阿部定雄  
 金壹千円也 松本重雄  
 金壹千円也 大島信孝  
 金壹千円也 瀬島留一  
 金壹千円也 松本満壽  
 金壹千円也 萩原義一  
 金壹千円也 大木栄太郎  
 金壹千円也 阪井喜七  
 金壹千円也 高田登茂一  
 金壹千円也 野村卯三郎  
 金壹千円也 橋高亨  
 金壹千円也 田中須  
 金壹千円也 松島繁  
 金壹千円也 小西久男  
 金壹千円也 渡辺義元  
 金壹千円也 田中伊七郎  
 金壹千円也 安橋勇治  
 金壹千円也 小石龍太郎  
 金壹千円也 中西与四松  
 金壹千円也 井上稔  
 金壹千円也 塚本七  
 金壹千円也 佐藤鈴一  
 金壹千円也 米田良一  
 金壹千円也 坂口秀一  
 金壹千円也 八幡政雄  
 金壹千円也 尾崎省吾  
 金壹千円也 小西利雄  
 金壹千円也 田中忠次  
 金壹千円也 岡野智一  
 金壹千円也 栗谷榮一  
 金壹千円也 滝口滝造  
 金壹千円也 食満幹雄  
 金壹千円也 美和田幸吉

金壹千円也 石川四郎  
 金壹千円也 田中喜一  
 金壹千円也 鈴木捨藏  
 金壹千円也 森田正  
 金壹千円也 佐々木菊雄  
 金壹千円也 井上泰雄  
 金壹千円也 前島秀雄  
 金壹千円也 柳田勇一  
 金壹千円也 真島一楽  
 金壹千円也 島谷正一  
 金壹千円也 如本章郎  
 金壹千円也 宮本岩芳  
 金壹千円也 青木忠作  
 金壹千円也 上市尚之助  
 金壹千円也 堀谷八治郎  
 金壹千円也 中野広  
 金壹千円也 岸野逸治  
 金壹千円也 広田正雄  
 金壹千円也 橋本明治  
 金壹千円也 一柳庄太郎  
 金壹千円也 西川雄之助  
 金壹千円也 五十嵐金次郎  
 金壹千円也 景山吉男  
 金壹千円也 菅謙藏  
 金壹千円也 平川惠庸  
 金壹千円也 田村三郎  
 金壹千円也 門前次郎  
 金壹千円也 山形芳平  
 金壹千円也 釈迦戸貞治  
 金壹千円也 水野善次郎  
 金壹千円也 梶本猪三郎  
 金壹千円也 奥野芳郎  
 金壹千円也 杉野君子  
 金壹千円也 根来常次郎  
 金壹千円也 綱野利一  
 金壹千円也 宮田善夫  
 金壹千円也 晒切正清



金壹千円也 上林 信夫  
 金壹千円也 佐藤 菊松  
 金壹千円也 水口 喜一  
 金壹千円也 花城 安三  
 金壹千円也 粉川 良雄  
 金壹千円也 安藤 豊弘  
 金壹千円也 小野 探  
 金壹千円也 岡村 喜一  
 金壹千円也 青木 富三郎  
 金壹千円也 魚里 博  
 金壹千円也 段田 清太郎  
 金壹千円也 伊藤 尙一  
 金壹千円也 野村 安広  
 金壹千円也 田中 龍二  
 金壹千円也 浜田 義隆  
 金壹千円也 内田 甚三郎  
 金壹千円也 辻田 長造  
 金壹千円也 吉田 福松  
 金壹千円也 河島 美之吉  
 金壹千円也 勝田 梅太郎  
 金壹千円也 仙 繁一  
 金壹千円也 八里 傳治郎  
 金壹千円也 竹内 忠興  
 金壹千円也 岡本 重美  
 金壹千円也 添谷 忠太郎  
 金壹千円也 大谷 地元一  
 金壹千円也 才藤 彦十郎  
 金壹千円也 平岡 謙一郎  
 金壹千円也 西村 健一  
 金壹千円也 谷 弘  
 金壹千円也 梶 宇一  
 金壹千円也 磯見 豊  
 金壹千円也 都 松藏  
 金壹千円也 樽谷 福松  
 金壹千円也 田中 定雄  
 金壹千円也 奥山 利七  
 金壹千円也 朴 壽福  
 金壹千円也 市位 暉一

金壹千円也 間々田 博公  
 金壹千円也 大野 広義  
 金壹千円也 南部 浅次郎  
 金壹千円也 神田 耕作  
 金壹千円也 福島 娶  
 金壹千円也 山崎 一応  
 金壹千円也 家近 満直  
 金壹千円也 福井 栄次  
 金壹千円也 能登 良三  
 金壹千円也 尾西 平太郎  
 金壹千円也 西浦 治三郎  
 金壹千円也 小山 隆平  
 金壹千円也 入谷 役吉  
 金壹千円也 北村 光雄  
 金壹千円也 岡村 四郎  
 金壹千円也 八原 清光  
 金壹千円也 泉 良輔  
 金壹千円也 竹内 秀太郎  
 金壹千円也 真鍋 彌太郎  
 累計 参拾六万参千円也  
 累計 貳百六拾壹万貳千七百円也

**五、學校法人關西大學の部**

評議員 (才四回)  
 金五万円也 今井 康兼(昭14 大経)  
 金壹万四千元也 森 寛紹(大15 大法)  
 計 六万四千元也  
 累計 金百参万貳千円也  
 合計 金貳百貳拾九万六千六拾円也  
 総計 金貳千貳百六拾九萬 参千七百六拾円也

(合計及び総計は重複金額を含まない実申込金額である)

**寄附金分類別集計表**

昭和二十九年六月三十日現在

申込種別	件数	金額
篤志家	五	五、四、五〇・〇〇
関係業者	三〇	七、四、七〇・〇〇
地方支部	三	二、八、六〇・〇〇
職域会	七	二、五、〇〇・〇〇
同期会	八	一、八、〇〇・〇〇
友個人	一〇	五、七、五〇・〇〇
教育後援会	四	五、七、九〇・〇〇
学校法人役員	三	二、六、二〇・〇〇
評議員	四	九、五、〇〇・〇〇
大中学	四	一、〇、三〇・〇〇
幼稚園	四	一、六、四〇・〇〇
職員	七	八、八、〇〇・〇〇
事務職員	三	七、八、〇〇・〇〇
合計	三三	四、〇〇・〇〇
内重複額		一、八、四〇・〇〇
差引合計		二、一、六〇・〇〇
收納額		九、七、四〇・〇〇
未収約額		三、六、〇〇・〇〇

**トピックス**

**ハーヴァード大学 卒業生の寄附金**  
 昨年度にハーヴァード大学 (アメリカ) 卒業生が母校へ寄附した金 (Annual Gifts) は百万五千四百八十二ドル (約三億六千九百九十五万円) で、寄附者数は二万七千三百八十七名だったが前年度一九五二年度は寄附者二万四千七百十八名金額九十一万七千四百二十七ドルだったと発表している。  
 (海外資料による)

昭和二十九年六月十五日発行

**関西大學學報 第二七〇號**

大阪府大淀区长柄中通二丁目一二番地  
 編集兼 久 井 忠 雄  
 発行人 久 井 忠 雄  
 大阪府北区川崎町三八  
 印刷所 株式会社 ナニワ印刷所  
 電話堀川(三三〇)三番  
 電話堀川(七三三)三番

大阪府大淀区长柄中通二丁目  
**発行所 関西大學學報局**  
 電話堀川(35)一七五六番  
 振替大阪二六七七三番

一年誌代実費三〇〇円 (送料共)

## 史料について御願ひ

目下編纂中の関西大学七十年史の資料として左記の如きものを御所蔵の方々は何卒御貸与下され、編纂に御協力下さるよう御願ひ致します。拝借致しました品々は大切に謄写撮影の後御返却申上まず。

### 記

- 一、井上操、手塚太郎、小倉久、志方銀、鶴要守義、渋川忠二郎（但し同翁伝刊本当方にあり）水上長次郎、堀田正忠等諸氏の書翰、伝記、写真、花紙短冊等、特に関大関係のものがあれば一層可。
- 一、昭和九年四月二十七日号（第四十九号）以前の関西大学新聞。（創刊号一四十八号）
- 一、関大専門部、関甲等を含む出身戦死者の書翰。関大時代の生活に言及せるものあらば一層可。
- 一、法学生志林第四十九巻の第一号
- 一、石田文四郎著、明治時代文化記録集成
- 一、同 右 著、明治大件事
- 一、自由党大阪国事犯事件（大井憲太郎等の朝鮮独立党援助事件）に関する根本史料、文献
- 一、明治十年代より二十年代初期の大阪法曹界の事情を明かにしたる（文献大阪辯護士会史は当方にあり、その史料となるごときものを求む）
- 一、明治四十四年以前の卒業アルバム
- 一、福島時代の学生生活に関する写真
- 一、山岡順太郎、垂水善太郎、柿崎欽吾、土居通夫等諸氏の書翰その他著録された文章にして関大に言及せるもの
- 一、本学学生並に校友の私に発刊せる文芸同人雑誌
- 一、昭和二年事件顛末書
- 一、明治二十年代本学教職員辞令書
- 一、明治二十三年代の大阪市街々頭風景写真、江戸堀、淡路町、京町堀、河内町、福島附近などあれば一層可
- 一、千里山附近の風光を詠じたる詩歌俳句の文芸的価値すぐれたるもの。
- 一、関大選手の全国的スポーツ大会に優勝したる時の写真、その時の記録国際的大会と世界的記録に関する場合の写真。
- 一、ポアソナードと司法省法学校に関する根本史料

昭和二十九年五月三十日  
吹田市千里山

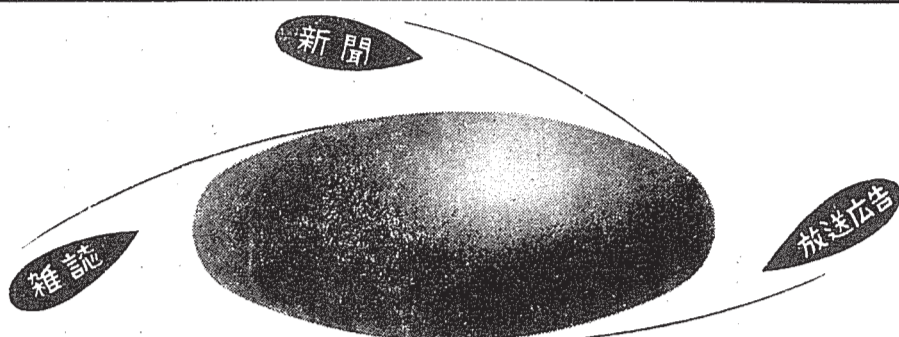
関西大学大学院ホール内

関西大学七十年史編纂室

昭和二十六年十月十五日第三種郵便物認可  
昭和二十九年六月十五日発行（毎月一回十五日発行）

関西大学學報

第二七〇號 六月號



60余年の歴史と経験を持つ当社をあらゆる広告に御利用下さい

定期刊行物

**広告年鑑**

内容—新聞誌・雑誌誌  
放送誌・廣告實務誌  
廣告資料誌・廣告主  
名鑑の各篇々々充實

**広告論叢**

株式会社

廣告代理業

# 萬年社

大阪市東区高麗橋五丁目・電話（土佐堀）693-696・支店=東京・京都・神戸・名古屋

昭和二十六年十月十五日第三種郵便物認可  
 関西大学報第二七〇号附録  
 昭和二十九年六月十五日發行(毎月一回十五日發行)

# 關西大學七十周年記念

## 拡充資金寄附者芳名 (一)(二)(三)(四)(五)

昭和廿九年五月三十日現在

### 一、篤志家の部

(才一回―五回)

金壹封	岸田 幸雄	兵庫県知事 校友会 神戸支部 支部長	金參万円也	上村一二郎
金百万円也	久大紡績株式会社		金參万円也	米田 三治
金百万円也	匿名氏		金貳万円也	米谷 允利
金五拾万円也	吉本興業株式会社		金貳万円也	富山 俊夫
金拾万円也	石原勝太郎		金貳万円也	牧野 武三
金拾万円也	匿名氏		金貳万円也	東田 繁雄
金拾万円也	匿名氏		金貳万円也	稻葉実之助
金拾万円也	匿名氏		金貳万円也	白井 利久
金拾万円也	匿名氏		金壹万円也	匿名氏
金拾万円也	匿名氏		金壹万円也	杉森 弘
金拾万円也	廣川 良三		金壹万円也	吉崎 照夫
金拾万円也	藤本 政吉		金壹万円也	三ツ橋邦治郎
金拾万円也	下村 勝		金壹万円也	松岡 一美
金拾万円也	塚田武四郎		金壹万円也	今西 武彦
金五万円也	吉川 浅吉		金壹万円也	中村 武彦
金五万円也	匿名氏		金壹万円也	某
金五万円也	匿名氏		金壹万円也	鳥野繁太郎
金五万円也	匿名氏		金壹万円也	鳥居昇二郎
金四万円也	堀畑 軒一		金壹万円也	匿名氏
金參万円也	匿名氏		金壹万円也	井上為之助
金參万円也	匿名氏		金壹万円也	岡野 弘毅
金參万円也	匿名氏		金壹万円也	不破晴三郎
金參万円也	後藤 桂		金壹万円也	小谷 正治
			金參千円也	繩本清太郎

### 二、關係業者

(才一回―五回)

金參千円也	三宅 八重
金貳千円也	北原 朱相奎
金壹千円也	鳥居 親之
金壹千円也	大森松太郎
金壹千円也	中辻 卯吉
金壹千円也	中江 秀実
金壹千円也	泓川 義文
金壹千円也	木島 弘晴
累計 金參百九拾七万參千円也	
金四百万円也	竹中工務店(才一、二回)
金五拾万円也	近畿電気工事株式会社
金五拾万円也	歌舞伎亭
金四拾五万円也	大阪城口研究所
金貳拾万円也	住友信託銀行
金貳拾万円也	勧業銀行梅田支店
金貳拾万円也	大和銀行天六支店
金拾參万參千五百円也	丸善株式会社
金拾壹万壹千円也	青泉社
金拾万円也	万年社
金拾万円也	泉州銀行
金拾万円也	三和銀行天六支店
金七万円也	株式会社ナニワ印刷所
金五万円也	日本機材工業株式会社
金五万円也	昭和電気工事株式会社
金參万七千五百円也	旭屋書店
金參万円也	日本家具製造株式会社
金參万円也	安田信託銀行
金貳万円也	佐々木豊写真館
金壹万円也	日水工業所
金壹万円也	中島印刷工場
金壹万円也	株式会社オム社書店

### 三、校友の部

【1】地方支部

(才一、二回)

金貳拾万円也	白川 朋吉
金拾八万円也	久井 忠雄
金拾万円也	岩崎 卯一
金拾万円也	三好 万次
金七万円也	矢野 文雄
金五万円也	阿部 甚吉
金五万円也	宇佐美正祐
金五万円也	大石雄一郎
金五万円也	樫本 信雄
金五万円也	木村 健助
金五万円也	武田藏之助
金五万円也	中務 平吉
金五万円也	長柄 金吾
金五万円也	西尾専太郎
金五万円也	西村治三郎
金五万円也	西本 寛一
金五万円也	春原源太郎
金五万円也	宮島 綱男
金五万円也	森川 太郎
金參万五千円也	桂川 忠雄
金參万円也	前田 軍治
金參万円也	池田信之助
金參万円也	尾崎 信夫
金參万円也	神屋敷民藏
金貳万五千円也	安井 章吾
金貳万円也	大島 武夫



金貳万円也 坂本 龍夫  
 金貳万円也 下条 小野右衛門  
 金貳万円也 関 豊馬  
 金貳万円也 田中 一郎  
 金貳万円也 多賀谷 宏  
 金貳万円也 平井 三朗  
 金貳万円也 村尾 静明  
 金貳万円也 保井 剛一  
 金壹万五千円也 三島 律夫  
 金壹万円也 今里 達雄  
 金壹万円也 梅原貞次郎  
 金壹万円也 海野 円城  
 金壹万円也 岡本 重治  
 金壹万円也 織田佐代治  
 金壹万円也 北原 元茂  
 金壹万円也 中村 公男  
 金壹万円也 長谷川清一  
 金壹万円也 松本芳太郎  
 金壹万円也 森下 善雄  
 金壹万円也 八木万太郎  
 金壹万円也 大和 英雄  
 金壹万円也 和田 傳三  
 金壹万円也 秋山 剛  
 金壹万円也 富永 竹夫  
 金壹万円也 丸山喜三造  
 金壹万円也 江里口春志  
 金壹万円也 柳田 栄次  
 金八千円也 四辻 詮  
 金五千円也 安藤 一郎  
 金五千円也 酒井 彦一  
 金五千円也 辻見 重行  
 金五千円也 野田 文雄  
 金五千円也 橋田 豊吉  
 金五千円也 山影 耕作  
 金五千円也 毛尾 泰三  
 金五千円也 神吉 泰三  
 金五千円也 鳥羽源四郎  
 金参千円也 中村 敏雄

金参千円也 金田 茂就  
 金参千円也 小林 義夫  
 金参千円也 清藤 友房  
 金参千円也 近藤 種藏  
 金参千円也 町村 常好  
 金参千円也 前田 敏雄  
 金参千円也 福村 朝一  
 金参千円也 金本 敏  
 金参千円也 国塩 敏  
 金参千円也 吳 展成  
 金参千円也 高木 茂雄  
 金参千円也 石田 俊夫  
 金参千円也 中沢 俊雄  
 金壹千円也 岸田 幸雄  
 金壹千円也 原田麻太郎  
 金壹千円也 山崎 敬義  
 金壹千円也 難波 太一  
 金壹千円也 橋本 信夫  
 金壹千円也 森 又雄  
 金壹千円也 土井 義弘  
 金壹千円也 東耕 龍男  
 金壹千円也 向井 祐亮  
 金壹千円也 角田好太郎  
 金壹千円也 安井 栄三  
 金壹千円也 岡田 退一  
 金壹千円也 山本 春治  
 金壹千円也 水本千代松  
 金壹千円也 小谷 正治  
 金壹千円也 尾形 旨正  
 金壹千円也 片山 勝  
 金壹千円也 木内 博  
 金参千円也 中藤幸太郎

累計 金百九拾八万四千円也  
 (口) 神戸支部 (才一回—三回)

金参千円也 西光 健次  
 金参千円也 田中 敏也  
 金参千円也 渡辺 道男  
 金参千円也 赤川 正夫  
 金参千円也 片山菊次郎  
 金参千円也 宮信 重夫  
 金参千円也 吉田 貞澄  
 金参千円也 吉田 正幸  
 金参千円也 北京楼朱相奎  
 金参千円也 黒田 一男  
 金参千円也 瀬郷 清市  
 金参千円也 鳥居 綱之  
 金参千円也 大森松太郎  
 金参千円也 中辻 卯吉  
 金参千円也 泓川 義文  
 金参千円也 中江 秀英  
 金参千円也 林 義夫  
 金参千円也 大野 幸雄  
 金参千円也 松岡 行雄  
 金参千円也 高橋猪久次  
 金参千円也 島村猪之助  
 金参千円也 山本 鎮郎  
 金参千円也 貴答 喜作  
 金参千円也 赤井 定雄  
 金参千円也 塚本 勝  
 金参千円也 榎本 昭博  
 金参千円也 高原 俊春  
 金参千円也 野田 弘  
 金参千円也 小林 清  
 金参千円也 氏林 光嘉  
 金参千円也 田村 立朝  
 金参千円也 小川 国雄  
 金参千円也 井沢 国雄  
 金参千円也 川辺支部 (才一回—三回)  
 金参千円也 深川 実  
 金参千円也 小林 英次

金貳万五千円也 安井 章吾  
 金貳万円也 吉永 登  
 金壹万円也 滝井 義男  
 金壹万円也 池田幸太郎  
 金壹万円也 深川 重義  
 金壹万円也 北川喜八郎  
 金壹万円也 藤原 龍太  
 金壹万円也 寺浦留三郎  
 金参千円也 甲川 充賀  
 金参千円也 磯野 正春  
 金参千円也 田口 貞一  
 金参千円也 倉橋 貞謙  
 金参千円也 武田 謙  
 金参千円也 富川竹治郎  
 金参千円也 伴 勇  
 金参千円也 井上 久平  
 金参千円也 長田 千里  
 金参千円也 松崎 友一  
 金参千円也 中平 忠  
 金貳拾万四千円也 累計  
 (二) 東京支部 (才一回)  
 金五万円也 中山 幸市  
 金五万円也 福田 繁芳  
 金壹万円也 平岡 啓道  
 金参千円也 下出 宏造  
 金参千円也 鈴木 康之  
 計 金拾壹万六千円也  
 (未) 東住吉支部 (才一回)  
 金参万円也 関矢貫一郎  
 金貳万円也 米田 恒二  
 金壹万円也 松井 剛  
 金壹万円也 中石 清一  
 金五千円也 坪田 吾一  
 金五千円也 石原 孫市  
 計 金七万六千円也  
 (一) 徳島支部 (才一回)

金壹万円也 三宅 二郎  
金壹万円也 齊藤 正美  
金五千円也 中田 豊雄  
金貳千円也 幸田 秀明  
金壹千円也 小川 豪  
金壹千円也 倉橋 巖二  
金壹千円也 増原 市次  
金壹千円也 林 豊  
金壹千円也 千草 信男

計 金参万二千円也

(下) 鳥取支部 (才一回)  
金壹万円也 奥沢 澄  
計 金壹万円也

(子) 福島支部 (才一回)  
金壹万円也 山田 俊治  
計 金壹万円也

(リ) 和歌山支部 (才一回)  
金五千円也 小堀 欣二  
計 金五千円也

累計 金貳百六拾六万円也

[2] 職 域 会

(イ) 朝日新聞社開大会

金壹万五千円也 近藤 政士  
金壹万円也 吉田三七雄  
金壹万円也 石渡 俊一  
金壹万円也 松葉徳三郎  
金五千円也 角谷市太郎  
金五千円也 新海 泰三  
金参千円也 酒井鶴之助  
金参千円也 原田 正男  
金貳千円也 坂井佐佳士  
金貳千円也 甘野秀太郎  
金貳千円也 徳井 悦郎  
金壹千円也 沢田 苞

金壹千円也 杉本 富夫  
金壹千円也 安達 竹七  
金壹千円也 近藤 忠二  
金壹千円也 山崎福太郎  
金壹千円也 成川 政雄  
金壹千円也 脇 昭成  
金壹千円也 龍田 和弘  
金壹千円也 鎌田 務  
金壹千円也 間石 義一  
金壹千円也 佐藤 正隆  
金壹千円也 八木 覚雄  
金壹千円也 三浦 初男  
金壹千円也 平井 一郎  
金壹千円也 大橋 秀夫  
金壹千円也 明石 一郎  
金壹千円也 国府寺辰美  
金壹千円也 藤井 鶴雄  
金壹千円也 宮本 恒夫  
金壹千円也 宮原 美雄  
金壹千円也 南村 政春  
金壹千円也 木村佐喜夫  
金壹千円也 坂本 三郎  
金壹千円也 今川 美夫  
金壹千円也 森永 政利  
金壹千円也 近藤晋一郎  
金壹千円也 弘末 政彦  
金壹千円也 北本 誠一  
金壹千円也 平手龍之助  
金壹千円也 仲利博  
金壹千円也 西川 新造  
金壹千円也 神野 宣信  
金壹千円也 野村 正辰  
金壹千円也 西田 市一

計 金拾万円也

(ロ) 兵庫県庁秀麗会

金五万円也

計 金五万円也

(ハ) 鐘 秀 会 (鐘紡開大会)

金参万円也

(ニ) 農林省大阪食糧事務所開大会

金参千円也

(ホ) 近鉄開大会 (才一回)

金壹千円也 中沢 俊雄  
金壹千円也 増田 正一  
計 金貳千円也

累計 金拾八万五千円也

[3] 同 期 会

(イ) 昭 六 会 (才一・五回)  
金拾八万円也 久井 忠雄(才一・二回)  
金参万円也 佐伯 三郎(才一・二回)  
金貳万円也 長尾 昇(才一・二回)  
金貳万円也 嘉根 勘治  
金貳万円也 齊藤 善三  
金貳万円也 古田 龍雄  
金貳万円也 拜野 昇  
金壹万壹千五百円也 有賀司郎(才一・二回合計額)

累計 金六拾参万五百円也

(ロ) 十 期 会 (才一・五回)

金壹万円也 門田 文三  
金壹万円也 浅本 俊一  
金壹万円也 喜多 由造  
金壹万円也 朝倉 茂直  
金壹万円也 川上 末一  
金壹万円也 中村武一郎  
金壹万円也 中谷 勝  
金壹万円也 吉川 敬一  
金壹万円也 上野 俊彦  
金壹万円也 日下 康夫  
金壹万円也 羽生 忠  
金壹万円也 清水 安義  
金壹万円也 吉橋 鐸美  
金壹万円也 西口権四郎  
金五千円也 川越 智博  
金五千円也 中辻 淳  
金五千円也 青野 昌平  
金五千円也 奥川 武郎  
金五千円也 矢寺 三郎  
金五千円也 川西 武治  
金五千円也 入江 寅一  
金五千円也 堀田 順造  
金五千円也 後藤 幸重  
金五千円也 笠井 信夫  
金参千円也 井口 一一  
金壹千円也 増原 市次

金壹万円也竹沢喜代治  
金壹万円也塚本 義昭  
金壹万円也長谷川清一  
金壹万円也松谷 連哉  
金壹万円也森下 善雄  
金壹万円也柳田 栄次  
金壹万円也山中 輝司  
金壹万円也永井 芳一  
金壹万円也河合 中  
金壹万円也北川喜八郎  
金壹万円也森 杵次  
金壹万円也中山 厳  
金壹万円也千原 清治  
金壹万円也川澄 秋一  
金壹万円也高久 直信  
金壹万円也荻野 武男  
金五千元也糸田川信勝  
金五千元也白柳丈太郎  
金五千元也戸田 清一  
金五千元也萱島 栄  
金五千元也岡田 退一  
金五千元也前田 静夫  
金参千元也浅野 時男  
金壹千元也小山 修

累計 金四拾四万九千元也

(一) 昭三 会 (才一回)  
金拾万円也松広 壽衛  
金参万円也尾崎 信夫  
金貳万円也小寺小市郎  
金貳万円也木下 虎一  
金壹万円也南 清  
金壹万円也丸木利喜造  
金壹万円也伊藤 太平  
計 金貳拾万円也  
(二) 昭七 会 (才一回)  
金五万円也春原源太郎  
金五万円也西尾専太郎

金貳万円也米田 恒二  
金貳万円也越智比古市  
金貳万円也藤原 忠義  
金貳万円也丸山喜三造  
金壹万円也吉木 由雄  
計 金拾九万円也  
(水) 関甲クラブ (才一回)  
金参万円也長田 義一  
金貳万円也山本 藤藏  
金壹万円也北川 保  
金壹万円也小林 順志  
金壹万円也国分 吉広  
金壹万円也郡 栄作  
金五千元也中村敏治郎  
金四千元也山本 富和  
金参千元也岩田 利男  
金参千元也巽 正男  
金参千元也小枝 康益  
金参千元也西川 静治  
金参千元也桑原 安正  
金参千元也小柴崎邦夫  
金参千元也山本 義雄  
金貳千元也広谷 七郎

累計 金拾貳万貳千元也

(二) 昭四斯文会 (才一二回)  
金参万円也池田信之助  
金参万円也神屋敷民藏  
金貳万五千元也安井 章吾  
金壹万円也和田 傳三  
金壹万円也川野 文也  
金五千元也米満 栄三  
計 金拾壹万円也  
(下) 三七 会 (才一回)  
金貳万円也内藤 正剛  
金貳万円也村尾 静明  
金壹万円也深川 重義

金壹万円也兼松謙太郎  
金壹万円也豊岡 正芳  
金五千元也藤高 豊作  
金壹千元也上田 実  
金壹千元也田中三喜藏  
金壹千元也赤坂 惠龍  
計 金七万八千元也  
(才) 四三 会 (才一回)  
金参万円也原田 鹿太郎  
金貳万円也下条小野右衛門  
金壹万円也滝川 堯  
計 金六万円也

累計 金百八拾参万九千五百元也

[4] 個人 (才一五回)  
金拾五万円也 五井 重一(昭15 専 英)  
金五万円也 内田 蕊(昭2 大 商)  
金参万円也 松野 幸吉(昭8 大 法)  
金貳万円也 田中 藤作(大10 専 法)  
金壹万五千元也 中村定二(昭16 専 二法)  
金壹万五千元也 (才一三回合計額)  
金壹万円也 松村源次郎(昭2 専 法)  
金壹万円也 乾 義雄(大6 専 一經)  
金壹万円也 郡 彪(昭28 専 一經)  
金壹万円也 平井 孝道(昭8 大 哲)  
金壹万円也 藤井 昭三(昭27 院 經)  
金壹万円也 長沢 健一(昭8 大 經)  
金壹万円也 泉 順一(昭26 専 二法)  
金壹万円也 松本 実道(昭3 専 文)  
金壹万円也 福原 武一(昭2 専 法)  
金壹万円也 岡沢 一郎(大8 専 商)  
金壹万円也 大飼 卓郎(昭8 大 商)  
金壹万円也 谷口 隆佳(大15 大 法)  
金五千元也 新井忠二郎(昭19 大 法)  
金五千元也 大谷 松次(昭11 大 政)  
金五千元也 木村 与吉(大8 専 法)

金五千元也 仁尾 常壽(昭4 専 法)  
金五千元也 宮光 永明(昭26 学 一法)  
金五千元也 天野 誠一(昭22 大 經)  
金参千元也 遠藤 吉次(昭7 専 法)  
金参千元也 小山 幸男(昭10 大 法)  
金参千元也 川端 岬(昭16 専 法)  
金参千元也 高砂恒三郎(大13 専 法)  
金参千元也 西浦 義一(昭10 専 二法)  
金参千元也 村西 修(昭27 専 一徑)  
金参千元也 芦田 慶三(昭26 専 二商)  
金貳千元也 竹内 勳(大15 専 法)  
金貳千元也 松嶋 章(昭21 大 經)  
金貳千元也 岩見 実(昭14 専 二法)  
金貳千元也 村田俊一郎(昭26 学 一商)  
金貳千元也 峰本 勝義(昭25 学 一商)  
金貳千元也 片岡 公明(昭17 大 政)  
金貳千元也 中村彌之助(昭13 専 二商)  
金貳千元也 西村 一幸(昭21 大 法)  
金貳千元也 福田 敏夫(昭12 大 政)  
金貳千元也 木島 倫三(昭5 専 二商)  
金壹千元也 因野 昭(昭22 専 二商)  
金壹千元也 安西 一郎(昭25 学 二商)  
金壹千元也 北村 豊(昭14 専 二商)  
金壹千元也 石丸 豊(大9 専 商)  
金壹千元也 小島 龍夫(昭26 学 一商)  
大越 務(明37 法)  
広橋 正一(昭26 学 一法)  
深田 丈夫(昭14 大 法)  
松川 孟一(大11 専 法)  
和田 信藏(昭8 大 法)  
高橋 鳳(昭25 学 一法)  
高橋 文惠(昭8 専 二法)  
小田 静男(昭16 専 二法)  
原田市之進(明39 法)  
不動 健治(大9 大 商)  
村岡 道久(昭18 専 二法)  
野口 茂樹(昭4 大 法)  
吉田 孝藏(昭27 学 二法)



金壹千円也	和久田二郎(昭16大経)	金壹千円也	平田栄一郎(昭10専二法)	金壹千円也	大笹 勝美(昭13専二商)	金壹千円也	国崎 裕(委)
金壹千円也	住岡 藤一(昭14専二経)	金壹千円也	栗木原臣一(昭24大経)	金壹千円也	芝田 政治(昭44専法)	金壹千円也	松岡 孝義( )
金壹千円也	楠田 寅三(昭5専法)	金壹千円也	尾上 圭一(昭16専二経)	金壹千円也	中井 利明(昭26専二商)	金壹千円也	藤森 賛樹( )
金壹千円也	中尾 宣雄(昭12大経)	金壹千円也	金谷 信助(昭27専一経)	金壹千円也	喜多 芳明(昭21専二商)	金壹千円也	小池十太郎( )
金壹千円也	山脇 修(昭18専)	金壹千円也	今仲 美巳(昭10専二商)	金壹千円也	寺西 三郎(昭27専一法)	金壹千円也	小西彦四郎( )
金壹千円也	森 正十(昭26専一政)	金壹千円也	辻 茂(大13専二商)	金壹千円也	上田 義雄(昭23専二商)	金壹千円也	寺沢貞次郎( )
金壹千円也	後藤 正身(昭10大法)	金壹千円也	東田 憲二(大14大法)	金壹千円也	小林 喬(大14商)	金壹千円也	木野 一雄( )
金壹千円也	原田美都枝(昭26専二商)	金壹千円也	植田 猶雄(昭16専二法)	金壹千円也	筒井 英隆(大7大法)	金壹千円也	北村 秀吉( )
金壹千円也	小倉善八郎(昭18専二商)	金壹千円也	才野木義雄(昭12専二法)	金壹千円也	中井 英男(昭13専二商)	金壹千円也	今村 藤夫( )
金壹千円也	今仲三木雄(昭16専二商)	金壹千円也	青木 久雄(昭27専二法)	金壹千円也	八木 信三(昭2専法)	金壹千円也	一色 良子( )
金壹千円也	平岡 巖(昭26専二商)	金壹千円也	沢田養之助(昭16専二商)	金壹千円也	信三(昭2専法)	金壹千円也	大畑 猶彦( )
金壹千円也	佐野 広治(大6専法)	金壹千円也	中西 忠孝(昭6専二法)	金壹千円也	福次(昭6専二法)	金壹千円也	吉岡 善一( )
金壹千円也	藤田 啓夫(昭8専二法)	金壹千円也	服部 福次(昭6専二法)	金壹千円也	下阪 文夫(昭8大法)	金壹千円也	第新 秀一( )
金壹千円也	勝間五十吉(昭14大法)	金壹千円也	徳弘 胸雄(昭28専一法)	金壹千円也	徳弘 胸雄(昭28専一法)	金壹千円也	辻 敏則( )
金壹千円也	大川原与一(昭9専二経)	金壹千円也	山本 栄夫(昭14専二法)	金壹千円也	山本 保徳(副会長)	金壹千円也	黒川庄次郎( )
金壹千円也	伊藤 保(昭17専二経)	金壹千円也	竹内 俊郎(昭24専二法)	金壹千円也	市岡 保徳(副会長)	金壹千円也	山本英二郎( )
金壹千円也	延広 一明(昭11専一商)	金壹千円也	山本 弘(昭13専二法)	金壹千円也	市岡 保徳(副会長)	金壹千円也	松本 品一( )
金壹千円也	吉本 房造(昭10専一法)	金壹千円也	辻原 利男(昭27専二法)	金壹千円也	村上千藏( )	金壹千円也	木村熊次郎( )
金壹千円也	山下 勇次(昭16大政)	金壹千円也	早稻田祐榮(昭27専二法)	金壹千円也	畑末彌市郎(常任委員)	金壹千円也	平塚 種松( )
金壹千円也	工藤 正義(昭24大政)	金壹千円也	野原 保(昭11専一商)	金壹千円也	千本 行応( )	金壹千円也	杉本 圭造( )
金壹千円也	野村 亮(昭26専一法)	金壹千円也	英 宗一(昭23大経)	金壹千円也	山下石太郎( )	金壹千円也	北浦 計吉( )
金壹千円也	塩田 啓三(昭17大商)	金壹千円也	大和 宗一(昭29専二法)	金壹千円也	東田 繁雄( )	金壹千円也	小寺 宗治( )
金壹千円也	河内 正雄(昭19大政)	金壹千円也	長尾 正弘(昭12大法)	金壹千円也	深田 敬憲( )	金壹千円也	山本 宗治( )
金壹千円也	鈴置 常雄(昭10専二商)	金壹千円也	仲 実(昭12大法)	金壹千円也	赤尾 俊信( )	金壹千円也	山本 宗治( )
金壹千円也	加藤 俊夫(昭18専一商)	金壹千円也	津川 鑑一(昭6専一経)	金壹千円也	山本 順応(幹事長)	金壹千円也	酒井 よし( )
金壹千円也	木原 晴雄(昭27専一商)	金壹千円也	野村 剛(昭26専二法)	金壹千円也	井上 晴次(委員)	金壹千円也	後藤 恒雄( )
金壹千円也	山本 賢三(昭17専一経)	金壹千円也	立花 浩(昭13専二法)	金壹千円也	市口政太郎( )	金壹千円也	長谷川玉次( )
金壹千円也	半那 賢三(昭17専一経)	金壹千円也	井上 義雄(大12大商)	金壹千円也	馬場 静夫( )	金壹千円也	別所亀四郎( )
金壹千円也	鮎子田繁太郎(昭5大法)	金壹千円也	又次(昭26専一経)	金壹千円也	小崎 新一( )	金壹千円也	高久 直信( )
金壹千円也	松村 公彦(昭12専二商)	金壹千円也	野沢 正治(昭8専二法)	金壹千円也	和田 政一( )	金壹千円也	毛利 敬正( )
金壹千円也	小西 昌彦(昭22大法)	金壹千円也	野沢 正治(昭8専二法)	金壹千円也	河合藤十郎( )	金壹千円也	服部 正夫( )
金壹千円也	植田 秀雄(昭19大法)	金壹千円也	清水 善方(昭25専二商)	金壹千円也	吉府喜四郎( )	金壹千円也	岡 憲一( )
金壹千円也	岸本 忠雄(大13専一商)	金壹千円也	高瀬 孝男(昭25専一法)	金壹千円也	横出 敏雄( )	金壹千円也	木村 与吉( )
金壹千円也	麻野正千代(昭28専二法)	金壹千円也	相見 勉(昭18大法)	金壹千円也	鶴田 武( )	金壹千円也	服部 正夫( )
金壹千円也	島田 信一(昭5大経)	金壹千円也	鵜本 広吉(大12専一商)	金壹千円也	鶴田 武( )	金壹千円也	岡 憲一( )
金壹千円也	一瀬 泰男(昭28専一商)	金壹千円也	市橋 大吉(大12専一法)	金壹千円也	鶴田 武( )	金壹千円也	岡 憲一( )
金壹千円也	田中 実夫(昭8専二法)	金壹千円也	市橋 大吉(大12専一法)	金壹千円也	鶴田 武( )	金壹千円也	岡 憲一( )
金壹千円也	中山 一義(昭13専二法)	金壹千円也	市橋 大吉(大12専一法)	金壹千円也	鶴田 武( )	金壹千円也	岡 憲一( )

四、教育後援会の部 (才一十五回)

総累計 金五百貳拾五万五千元也

累計 金五拾七万五百円也

金四千元也 大西藤四郎  
 金参千元也 小谷 政治  
 金参千元也 鈴木 八郎  
 金参千元也 江尻 秀吉  
 金参千元也 西村 誠一  
 金参千元也 松本 誠一  
 金参千元也 寺田 吉之助  
 金参千元也 柏原 信次  
 金参千元也 岡 清一郎  
 金参千元也 有坂 忠士  
 金参千元也 天田 嘉一  
 金参千元也 杉山 太郎  
 金参千元也 吉田 秀映  
 金参千元也 脇山 光子  
 金参千元也 八木 実  
 金参千元也 岡 利裕  
 金参千元也 三井源一郎  
 金参千元也 北野 隆造  
 金参千元也 天谷 定吉  
 金参千元也 井野 周仙  
 金参千元也 今井三太郎  
 金参千元也 水谷喜三男  
 金参千元也 下山 二一  
 金参千元也 川端 勇  
 金参千元也 真柄 英吉  
 金参千元也 竹内理一郎  
 金参千元也 奥本 衛一  
 金参千元也 井野 忠春  
 金参千元也 丁野 忠春  
 金参千元也 久保 岩男  
 金参千元也 谷光 鶴一  
 金参千元也 中尾 正義  
 金参千元也 佐藤 一二  
 金参千元也 勢志久治郎  
 金参千元也 石原 一雄  
 金参千元也 東田晋次郎  
 金参千元也 金子 晋士  
 金参千元也 中田 茂吉

金壹千元也 入福金之助  
 金壹千元也 上田啓次郎  
 金壹千元也 森岡 享二  
 金壹千元也 山田伊三郎  
 金壹千元也 松下 六彌  
 金壹千元也 川崎 賢一  
 金壹千元也 石川 源三  
 金壹千元也 植 信次  
 金壹千元也 蓮井 誠吉  
 金壹千元也 安部 誠二  
 金壹千元也 松田 政一  
 金壹千元也 峯村 沢一  
 金壹千元也 西村胸太郎  
 金壹千元也 永原 元松  
 金壹千元也 宮浦 利雄  
 金壹千元也 辰田 弁一  
 金壹千元也 森田 熙  
 金壹千元也 辻本 徳充  
 金壹千元也 春名卓次郎  
 金壹千元也 藤井 貞朝  
 金壹千元也 坊岡 敏郎  
 金壹千元也 銀治 トク  
 金壹千元也 岸本 好正  
 金壹千元也 上農市三郎  
 金壹千元也 栗 房行  
 金壹千元也 野瀬 清  
 金壹千元也 江南 留吉  
 金壹千元也 増田 金一  
 金壹千元也 竹原 金吾  
 金壹千元也 木村十三徳  
 金壹千元也 満留 正夫  
 金壹千元也 吉田真次郎  
 金壹千元也 角田彌三兵衛  
 金壹千元也 貞包 超雄  
 金壹千元也 莊田 林造  
 金壹千元也 松永 徳治  
 金壹千元也 杉村作太郎

金壹千元也 馬場 円吉  
 金壹千元也 岩原寅次郎  
 金壹千元也 竹中 安太  
 金壹千元也 大城 勇造  
 金壹千元也 島津 徳三  
 金壹千元也 松原 やの  
 金壹千元也 神谷チヨノ  
 金壹千元也 平田 泰造  
 金壹千元也 宮崎 八郎  
 金壹千元也 吉川 錦治  
 金壹千元也 山岡哲志士  
 金壹千元也 伊賀 本松  
 金壹千元也 溝口 主雄  
 金壹千元也 野村 富繁  
 金壹千元也 佐藤 高夫  
 金壹千元也 吉田 一雄  
 金壹千元也 小林 喜六  
 金壹千元也 西丸 一雄  
 金壹千元也 松本 義男  
 金壹千元也 阪本 輝太  
 金壹千元也 中村猶治郎  
 金壹千元也 下川 茂  
 金壹千元也 広瀬芳太郎  
 金壹千元也 岩田 公平  
 金壹千元也 中村梅次郎  
 金壹千元也 山崎 誠  
 金壹千元也 東 綴  
 金壹千元也 小坂与十郎  
 金壹千元也 田ノ岡吉広  
 金壹千元也 多田 精一  
 金壹千元也 秦 寛一  
 金壹千元也 神保 正一  
 金壹千元也 竹村 隆助  
 金壹千元也 大津 武二  
 金壹千元也 三好ミトメ  
 金壹千元也 公江 貞雄

金壹千元也 伴 栄初  
 金壹千元也 中谷正由喜  
 金壹千元也 小畑甚三郎  
 金壹千元也 藤本 勇雄  
 金壹千元也 玉井 盤夫  
 金壹千元也 牧野 壽  
 金壹千元也 田中清太郎  
 金壹千元也 増田 喜市  
 金壹千元也 平野 永二  
 金壹千元也 吉田 克巳  
 金壹千元也 桑原 政一  
 金壹千元也 亀有 健次  
 金壹千元也 村井清太郎  
 金壹千元也 朝倉 佐一  
 金壹千元也 紀伊 彌吉  
 金壹千元也 秦 孝恒  
 金壹千元也 大室 清  
 金壹千元也 吉田ヒサ子  
 金壹千元也 英 喜久  
 金壹千元也 太田耕二郎  
 金壹千元也 生田 幸作  
 金壹千元也 大山 英治  
 金壹千元也 青木豊治郎  
 金壹千元也 徳村 行孝  
 金壹千元也 末岡 捨吉  
 金壹千元也 荒木喜太郎  
 金壹千元也 新田 仲道  
 金壹千元也 越前屋傳吉  
 金壹千元也 梶原 靖和  
 金壹千元也 寺口 秀志  
 金壹千元也 塩見 喜丸  
 金壹千元也 岩倉 義雄  
 金壹千元也 古元 正憲  
 金壹千元也 松本 恵子  
 金壹千元也 柳瀬 弘吉

金壹千円也 南清之助  
 金壹千円也 竹下 豊馬  
 金壹千円也 高松 忠吉  
 金壹千円也 山本 忠秀  
 金壹千円也 高木 勲八  
 金壹千円也 大森 国松  
 金壹千円也 野上 安一  
 金壹千円也 高橋 糸太郎  
 金壹千円也 池尻 武謙  
 金壹千円也 阪本 信秀  
 金壹千円也 糸雅 仁一  
 金壹千円也 山近 儀助  
 金壹千円也 山本 義之  
 金壹千円也 田原 瑞雄  
 金壹千円也 寺沢 卯三郎  
 金壹千円也 大植 惣之助  
 金壹千円也 渡部 師治郎  
 金壹千円也 大野 庄一  
 金壹千円也 味村 虎市  
 金壹千円也 戸根 精太郎  
 金壹千円也 山脇 修造  
 金壹千円也 山中 仁兵衛  
 金壹千円也 林 サダ  
 金壹千円也 日比生 麟太  
 金壹千円也 西川 孫太郎  
 金壹千円也 河合 徳三  
 金壹千円也 新潟 邦和  
 金壹千円也 辰巳 捨松  
 金壹千円也 鎌田 久之助  
 金壹千円也 浅野 勳  
 金壹千円也 奥本 豊  
 金壹千円也 三浦 八重治  
 金壹千円也 山口 俊一  
 金壹千円也 津川 広一  
 金壹千円也 村井 政吉  
 金壹千円也 石田 永二  
 金壹千円也 千葉 重男  
 金壹千円也 元村 佐次郎

金壹千円也 渡辺 一郎  
 金壹千円也 森本 平良  
 金壹千円也 三谷 喜一  
 金壹千円也 楠戸 秋夫  
 金壹千円也 田村 格治  
 金壹百円也 高田 英次

五、學校法人關西大學の部

(1) 理事、監事 (才一・二回)

金貳拾万円也 白川 朋吉(理事長)  
 金拾八万円也 久井 忠雄(専務理事)  
 金拾万円也 岩崎 卯一(学長 理事)  
 金七万円也 矢野 文雄(常務監事)  
 金五万円也 宇佐美 正祐(理事)  
 金五万円也 木村 健助(理事)  
 金五万円也 西本 寛一(理事)  
 金五万円也 春原 太郎(理事)  
 金五万円也 宮島 綱男(理事)  
 金五万円也 森川 太郎(理事)  
 金五万円也 西村 治三郎(監事)  
 金五万円也 西尾 寺太郎(理事)

(2) 評議員 (才一・一五回)

金五万円也 中務 平吉(評議員長)  
 金五万円也 樺本 信雄(評議員)  
 金五万円也 阿部 甚吉(評議員)  
 金五万円也 大石 雄一郎(理事)  
 金五万円也 武田 藏之助(理事)  
 金五万円也 長柄 金吾(理事)  
 金五万円也 福田 繁芳(理事)  
 金五万円也 桂 忠雄(理事)  
 金參万五千円也 池田 信之助(理事)  
 金參万円也 大小島 真二(理事)  
 金參万円也 神屋 敷民藏(理事)  
 金參万円也 水谷 揆一(理事)

金參万円也 原田 鹿太郎(評議員)  
 金參万円也 山崎 敬義(理事)  
 金參万円也 和田 豊二(理事)  
 金貳万円也 明石 三郎(理事)  
 金貳万円也 今西 庄次郎(理事)  
 金貳万円也 大島 武夫(理事)  
 金貳万円也 沢村 栄治(理事)  
 金貳万円也 関 豊馬(理事)  
 金貳万円也 下条 小野右衛門(理事)  
 金貳万円也 松原 藤由(理事)  
 金貳万円也 村尾 静明(理事)  
 金貳万円也 平井 三朗(理事)  
 金貳万円也 内藤 正剛(理事)  
 金貳万円也 保井 剛一(理事)  
 金壹万五千円也 近藤 政士(理事)  
 金壹万五千円也 三島 律夫(理事)  
 金壹万四千円也 森 寛紹(理事)  
 金壹万円也 江里 口春志(理事)  
 金壹万円也 織田 佐代治(理事)  
 金壹万円也 角田 好太郎(理事)  
 金壹万円也 鈴木 祥藏(理事)  
 金壹万円也 竹沢 喜代治(理事)  
 金壹万円也 中村 正雄(理事)  
 金壹万円也 政井 武(理事)  
 金壹万円也 松葉 徳三郎(理事)  
 金壹万円也 矢口 家治(理事)  
 金八千円也 吉田 三七雄(理事)  
 金壹千円也 藤野 春三(理事)

六、教育職員の部

(1) 大 學 (才一・二回)

金拾万円也 岩崎 卯一  
 金五万円也 岡野 留次郎  
 金五万円也 森川 太郎

金五万円也 木村 健助  
 金五万円也 板橋 菊松  
 金五万円也 西本 寛一  
 金參万円也 飯田 正一  
 金參万円也 植田 重正  
 金參万円也 上道 直夫  
 金參万円也 大小島 真二  
 金參万円也 高橋 盛孝  
 金參万円也 堀 正人  
 金參万円也 水谷 揆一  
 金參万円也 山田 松太郎  
 金參万円也 佐伯 三郎(合計額)

金貳万円也 中川 庸太郎  
 金貳万円也 矢口 孝次郎  
 金貳万円也 河村 宜介  
 金貳万円也 和田 豊二  
 金貳万円也 明石 三郎  
 金貳万円也 井上 吉次郎  
 金貳万円也 榎本 金次郎  
 金貳万円也 金子 又兵衛  
 金貳万円也 川上 敬逸  
 金貳万円也 澤瀉 久孝  
 金貳万円也 島田 退藏  
 金貳万円也 進藤 浩二郎  
 金貳万円也 末永 雅雄  
 金貳万円也 中井 駿三  
 金貳万円也 田中 隆  
 金貳万円也 廣瀬 捨三  
 金貳万円也 福島 四郎  
 金貳万円也 藤田 進一郎  
 金貳万円也 三木 治  
 金貳万円也 吉永 登  
 金貳万円也 池垣 定太郎  
 金貳万円也 桜田 登  
 金貳万円也 沢村 栄治  
 金貳万円也 三谷 友吉  
 金貳万円也 松原 藤由





金五千円也 村上仙三  
 金五千円也 阪本銀之助  
 金五千円也 岡田武司  
 金五千円也 辻見重行  
 金五千円也 金田雅一  
 金五千円也 酒井彦一  
 金五千円也 山景耕作  
 金五千円也 横山茂昭  
 金五千円也 出水泰祐  
 金五千円也 塩崎三郎  
 金五千円也 小幡務  
 金五千円也 西尾康  
 金五千円也 山中林三  
 金五千円也 野原義博  
 金五千円也 浜瀬義雄  
 金五千円也 上田彌三郎  
 金五千円也 繁本明  
 金五千円也 毛尾泰造  
 金四千五百円也 原幸作  
 金四千五百円也 片岡權治郎  
 金四千五百円也 山路貞藏  
 金四千円也 大沢寛治郎  
 金四千円也 上田実  
 金四千円也 田中豊子  
 金四千円也 田中得稔  
 金三千五百円也 鈴木英雄  
 金三千五百円也 郡司元治  
 金三千五百円也 穴田桂一  
 金三千五百円也 米田目永  
 金三千五百円也 伊藤保  
 金三千五百円也 中村富夫  
 金三千五百円也 藤本龍造  
 金三千五百円也 渡辺五郎  
 金三千円也 松本俊  
 金三千円也 植村憲三郎  
 金三千円也 杉原常彦  
 金三千円也 八島妙子

金参千円也 小西芳子  
 金参千円也 藤桂静枝  
 金参千円也 大淡永子  
 金参千円也 磯矢健吉  
 金参千円也 河野ツヤ子  
 金参千円也 下村松次郎  
 金参千円也 田中總代治  
 金参千円也 四井庄太郎  
 金参千円也 横田美壽子  
 金参千円也 盛清子  
 金参千円也 芳田文子  
 金参千円也 古志祐一  
 金参千円也 石橋直造  
 金参千円也 安宅雅夫  
 金参千円也 大浦まさ  
 金参千円也 山野幾松  
 金参千円也 龜井富之助  
 金参千円也 永易愨太郎  
 金参千円也 武田正夫  
 金参千円也 山口博喜  
 金参千円也 山本チカ  
 金参千円也 元永栄  
 金参千円也 中山義一  
 金参千円也 土肥治一郎  
 金参千円也 萬里小路通宗  
 金参千円也 荒木淑子  
 金参千円也 中川義信  
 金参千円也 高橋知子  
 金参千円也 西原セイ  
 金参千円也 西村富美子  
 金参千円也 水野敏雄  
 金参千円也 細部栄三郎  
 金参千円也 小谷美津子  
 金参千円也 田中美津子  
 金参千円也 岸田要次郎  
 金参千円也 杉島治郎  
 金参千円也 石田すえ  
 金参千円也 井上静子

金貳千五百円也 棚田ひさの  
 金貳千五百円也 高田静子  
 金貳千五百円也 野元喜藏  
 金貳千五百円也 山本亥太郎  
 金貳千五百円也 上田久子  
 金貳千五百円也 山下正隆  
 金貳千五百円也 阪本龍三  
 金貳千五百円也 工藤まさの  
 金貳千五百円也 氏原みの  
 金貳千五百円也 田熊謂津子  
 金貳千五百円也 森川彰  
 金貳千五百円也 大橋勲  
 金貳千五百円也 井村昌子  
 金貳千五百円也 增原佐智子  
 金貳千五百円也 向井喜代子  
 金貳千五百円也 前田房吉  
 金貳千五百円也 西沢吉  
 金貳千五百円也 木林絹子  
 金貳千五百円也 森本甫  
 金貳千五百円也 渡辺延子  
 金貳千五百円也 多田幸子  
 金貳千五百円也 加藤智子  
 金貳千五百円也 寺岡正子  
 金貳千五百円也 谷千代  
 金貳千五百円也 宮井光子  
 金貳千五百円也 中地三雄  
 金貳千五百円也 北村秀子  
 金貳千五百円也 森セツ  
 金貳千五百円也 植田ミサエ  
 金貳千五百円也 石田フジエ  
 金貳千五百円也 坪内賢  
 金貳千五百円也 赤松猛  
 金貳千五百円也 伊勢計典  
 金貳千五百円也 横田育子  
 金貳千五百円也 上山喜雄  
 金貳千五百円也 高瀬欣和  
 金貳千五百円也 木田朋子  
 金貳千五百円也 松永稔

金貳千円也 池田ミツ  
 金貳千円也 山中葉子  
 金貳千円也 市山久栄  
 金貳千円也 稻置和子  
 金貳千円也 三浦洋子  
 金貳千円也 小西愛之助  
 金貳千円也 西村公子  
 金貳千円也 西本眸  
 金貳千円也 梶山絹  
 金貳千円也 山崎節  
 金貳千円也 真下香代子  
 金貳千円也 宮中市子  
 金貳千円也 上之山慶一  
 金貳千円也 船引潤一郎  
 金貳千円也 上林邦子  
 金貳千円也 大場義之  
 金貳千円也 松下健次  
 金貳千円也 広野壽美子  
 金貳千円也 今村嘉之  
 金貳千円也 加藤幸広  
 金貳千円也 大西壽美子  
 金貳千円也 橋長菊子  
 金貳千円也 山本照夫  
 金貳千円也 勢井かう  
 金貳千円也 長本幸太郎  
 金貳千円也 滝本甚一  
 金貳千円也 山口秀児  
 金貳千円也 山下喜久子  
 金貳千円也 宮脇喜三江  
 金貳千円也 松尾京子  
 金貳千円也 田中忠雄  
 金貳千円也 田中正久  
 金貳千円也 福江照子  
 金貳千円也 若林志津江  
 金貳千円也 淡野明子  
 金貳千円也 茅野成見  
 金貳千円也 岡末弘  
 金貳千円也 酒井敏江

金壹千五百円也 野口 末吉  
 金壹千五百円也 土井原雅夫  
 金壹千五百円也 神村 俊一  
 金壹千五百円也 吉岡 達郎  
 金壹千五百円也 勝好 貞子  
 金壹千五百円也 松岡 勇  
 金壹千五百円也 木下 正信  
 金壹千五百円也 上田 幸子  
 金壹千五百円也 木村 法親  
 金壹千五百円也 水谷 道子  
 金壹千五百円也 寺井 伸子  
 金壹千五百円也 石川 峰雄  
 金壹千五百円也 木村たつ子  
 金壹千円也 河野すみ代  
 金壹千円也 岩下 欣哉  
 金壹千円也 吉村 安夫  
 金壹千円也 江原 静雄  
 金壹千円也 福永 栄  
 金壹千円也 大和 稠  
 金壹千円也 石田 幸一  
 金壹千円也 東浦満智子  
 金壹千円也 稻置 啓一  
 金壹千円也 山本 忠子  
 金壹千円也 山本 泰正  
 金壹千円也 田尾 剛次  
 金壹千円也 小谷 信隆  
 金壹千円也 小杉 信隆  
 金壹千円也 渡辺みち子  
 金壹千円也 山口 敏郎  
 金壹千円也 藤島 敏子  
 金壹千円也 藤原 敏子  
 金壹千円也 増田 敏子  
 金参百五拾円也 北岡九十九之助  
 金参百五拾円也 速水勇千代  
 金参百五拾円也 藤井 義夫  
 金参百五拾円也 北岡終一郎  
 金参百五拾円也 室井 義美  
 金参百五拾円也 平井 義美

金百五拾円也 菊井 久吉  
 金百五拾円也 古樫 藤一  
 金百円也 堀尾 洋子  
 累計 九拾八万七千四百円也

総計 貳千四拾参萬九千百円也

(総計は重複申込金額を含む  
 まない実寄附金額である)

關西大學擴充資金募集要項

- 一、予定金額 金五千万円
- 二、御送金は銀行振込用紙を以て全国の左記關西大學取引銀行本・支店へ、或は振替貯金(大阪壹貳八七五番)又は御便利な方法で關西大學會計課宛御願ひ致します。
- 三、御送金は銀行振込用紙を以て全国の左記關西大學取引銀行本・支店へ、或は振替貯金(大阪壹貳八七五番)又は御便利な方法で關西大學會計課宛御願ひ致します。
- 四、切期日は一應昭和二十九年十月七日と予定致します。
- 五、寄附者の氏名は、關西大學學報誌上に順次発表致します。

關西大學擴充資金募集は大藏大臣の承認した指定寄附金であります

今回大藏大臣より左記の通り、本學擴充資金募集の寄附金について、法人税法第九條第三項但書の規定に該当する寄附金としての承認を受けました。普通の寄附金であると、法人税法第九條第三項本文によつて、法定限度を超過した場合、その超過額はその法人の損金に算入されないから、法人所得に加算の上、課税を受けることになるのですが、本學の募集する寄附金は法人税法第九條第三項但書の「指定寄附金」の承認を受けているので、寄附者である会社その他の法人は、その寄附金については金額の如何に拘らず、これを損金として認められますから税金の対象にはならないのです。この指定寄附金は昭和二十五年大藏省告示第五一〇号第三号昭和二十六年大藏省告示第五五二号に該当するもので左の通りになつています。

(憲) 藏税第一八五〇号

昭和二十八年十月八日

學校法人 關西大學  
 理事長 白川朋吉殿

大藏大臣 小笠原三九郎

昭和二十八年九月二十二日附で願出があつた寄附金については法人税法第九條第三項但書の規定に該当する寄附金として承認する。

近頃各種の寄附金募集が多いのですが、折角好意ある御寄附をした会社はこれを損金として経理処理しているのを、税務署では損金否認して利益加算し課税を受ける例は多いのですが、本學の如く大藏大臣の承認した「指定寄附金」でありますから、損金を否認される心配はありません。何うぞこの点、特に御理解を賜りとう存じます。